(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2002-114784 (P2002-114784A)

(43)公開日 平成14年4月16日(2002.4.16)

(51) Int.Cl.' 裁別記号 F I デーマコート*(参考)
C O 7 D 413/14 C O 6 3
417/14 417/14 417/14 4H 0 1 1
A O 1 N 43/80 1 0 1 A O 1 N 43/80 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全 49 頁)

工業株式会社中央研究所内

(21)出願番号 特顯2000-308160(P2000-308160) (71)出願人 000003986 日産化学工業株式会社 (22)出願日 平成12年10月6日(2000.10.6) 東京都千代田区神田錦町3丁目7番地 (72)発明者 村上 博 千葉県船橋市坪井町722番地1 日産化学 工業株式会社中央研究所内 (72)発明者 沼田 昭 千葉県船橋市坪井町722番地1 工業株式会社中央研究所内 (72)発明者 補岡 義之 千葉県船橋市坪井町722番地1 日産化学

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 イソキサゾール誘導体および有害生物防除剤

(57)【要約】

【課題】 新規な農薬、特に殺虫剤を提供する。

【解決手段】 式(1):

【化1】



〔式中、Qは特定の基で置換されたチアゾリルまたは特定の基で置換されたピラゾリルであり、Aは特定の基で 置換されてもよいフェニル、特定の基で置換されてもよい いナフチルまたは特定の基で置換されてもよい特定の複 素環基である。〕で表されるイソキサゾール誘導体およ びそれを含有する農薬。 【特許請求の範囲】 【請求項1】 式(1): 【化1】



[式中、Qは、Rと(R¹)。とで置換されたチアゾリル、またはRと(R¹)。とで置換されたピラゾリルであり、

Aは、Wで置換されていてもよいフェニル、Wで置換されていてもよいナフチルまたはYで置換されていてもよい技索環基(但し、この複素環基は、チエニル、フリル、ピロリル、オキサゾリル、イソキサゾリル、イミダゾリル、1、3、4ーオキサジアゾリル、1、2、4ーオキサジアゾリル、1、2、4ーオージアゾリル、1、2、4ーチアジアゾリル、1、2、4ーチアジアゾリル、1、2、4ーチアジアゾリル、1、2、4ートリアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、2、3ートリアゾリル、1、2、3・4ーテトラゾリル、ピリジル、ピリミジニル、ピラジニル、ピリダジニル、1、2、4ートリアジニル、インダゾリル、ベンゾオキサゾリル、キノリニル、イソキノリニル、キノキサリニル、フタラジニル、シンノリニルまたはキナゾリニルである。)であり、

Rは、Gで置換されていてもよい複素環基(但し、この 複素環基はフリル、ピロリル、オキサゾリル、イソキサ ゾリル、チアゾリル、イソチアゾリル、ピラゾリル、イ ミダゾリル、1,3、4ーオキサジアゾリル、1,2、 4ーオキサジアゾリル、1,3、4ーチアジアゾリル、 1,2、4ーチアジアゾリル、1,2、4ートリアゾリル、1,2、3ーチアジアゾリル、1,2、3ートリア ゾリル、1,2、3ーチアジアゾリル、1,2、3ートリア ゾリル、1,2、3、4ーテトラゾリル、ピリミジニ ル、ピラジニル、ピリダジニル、1,3、5ートリアジ ニル、1,2、4ートリアジニル、ベンゾチアゾリル、 ベンゾイミダゾリル、インダゾリル、ベンゾオキサゾリ ル、キノリニル、イソキノリニル、キノキサリニル、フ タラジニル、シンノリニルまたはキナゾリニルであ る。)または

【化2】



であり.

 R^1 は、ハロゲン、 $C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_1 \sim C_5$ アルコキシカルボニル、 NO_2 、CN、 $-NU^1U^2$ または $-N=CT^7T^8$ であり、

 R^2 d、H、 $C_1 \sim C_{10}$ P ν + ν 、 $C_2 \sim C_6$ P ν τ = ν 、 $C_2 \sim C_6$ P ν + τ = ν 、 $C_1 \sim C_6$ P ν + τ = ν 、 $C_2 \sim C_6$ P ν + τ = ν P ν = ν 0.

ロシクロアルキル、C₁~C₃アルキルで置換されていて もよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシア ルキル、CH3SCH2、CH3OC2H4OCH2、Raで 置換されたC1~C4アルキル、Rbで置換されたC1~C $_4$ アルキル、 R^a で置換された $C_2 \sim C_4$ アルケニル、テト ラヒドロピラニル、(CH_3) $_3Si$ 、 $C_1\sim C_4$ アルキル スルホニル、ハロゲンもしくはC₁〜C₄アルキルで置換 されていてもよいフェニルスルホニル、-SO2CF3、 $C_1 \sim C_4 + J P N + N P = J Z N + N + N + C_2 \sim C_8 \mathcal{V} P$ ルキルアミノスルホニル、フェニルアミノスルホニル、 Zで置換されていてもよいピラゾリル、Zで置換されて いてもよいイミダゾリル、2で置換されていてもよいチ アゾリル、2で置換されていてもよいフェニル、2で置 換されていてもよいピリジル、乙で置換されていてもよ いピリミジニル、2で置換されていてもよいピラジニ ル、 $C_2 \sim C_5$ シアノアルキル、 $C_3 \sim C_9$ アルコキシカル ボニルアルキル、-C (=O) T^1 、-C (=S) T^1 、 -P(=O)T²T³、-P(=S)T²T³、アルカリ金 属原子、アルカリ土類金属原子またはNHT4T5T6で あり、

 R^3 は、H、 Λ ロゲン、 $C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ ア ルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキ ル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルキニ ル、 $C_3 \sim C_6$ ハロシクロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで 置換されていてもよいC3~C6シクロアルキル、C1~ C_6 P ν 1+ ν , C_2 \sim C_6 P ν 7+ ν 1+ ν , C_2 \sim C_6 アルキニルオキシ、 $C_1 \sim C_6 \cap C_6 \cap C_1 \sim C_6 \cap C_6 \cap$ ハロアルケニルオキシ、C2~C6ハロアルキニルオキ シ、C₂~C₄アルコキシアルキル、R^aで置換されたC₁ \sim C₄アルキル、R^bで置換されたC₁ \sim C₄アルキル、R °で置換されたC2~C4アルケニル、(CH3)3Si、 $C_1 \sim C_4$ \mathcal{F} $\mathcal{$ フィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルホニル、ハロゲンもし くはC₁~C₄アルキルで置換されていてもよいフェニル スルホニル、 $-SO_2CF_3$ 、 $C_2\sim C_5$ シアノアルキル、 $C_3 \sim C_9$ アルコキシカルボニルアルキル、CN、-NU 1 U²、フェノキシ、フェニルアミノ、 $^{-}$ C(=O) T^1 、-C(=S) T^1 、モルホリニル、ピペリジル、Zで置換されていてもよいピラゾリル、乙で置換されてい てもよいイミダゾリル、2で置換されていてもよいチア ゾリル、2て置換されていてもよいフェニル、2て置換 されていてもよいピリジル、乙で置換されていてもよい ピリミジニルまたは2で置換されていてもよいピラジニ ルであり、

nは、Oまたは1の整数であり、

Wは、ハロゲン、 $C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 R^a で置換された $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ のアルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルキニル、 $C_3 \sim C_6$ ハロシクロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい C_3

 $\sim C_6$ シクロアルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_2 \sim C_6$ アルケニルオキシ、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルオキシ、 $C_1 \sim$ C_4 $\wedge D$ $\wedge D$ $C_2 \sim C_6$ ハロアルキニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスル フェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ア ルキルスルホニル、C₂~C₆アルケニルスルフェニル、 スルホニル、C2~C6アルキニルスルフェニル、C2~ C_6 のアルキニルスルフィニル、 C_2 ~ C_6 アルキニルス ルホニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim$ C_4 $\wedge D_7$ $\wedge D_7$ スルホニル、 $C_2 \sim C_6 \cap C_6$ ケニルスルホニル、 $C_2 \sim C_6 \cap C_6 \cap$ ル、 $C_2 \sim C_6 \cap C$ ロアルキニルスルホニル、NO2、CN、-NUIU2、 フェノキシ、OH、ナフチル、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカル ボニル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシアルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルキ ルカルボニル、 $C_2 \sim C_5 P$ ルキルカルボニルオキシ、C $_2 \sim C_5 \cap C_5$ いてもよいベンゾイル、Xで置換されていてもよいフェ ニル、Xで置換されていてもよいピリジル、Xで置換さ れていてもよいチエニルおよび-N=CT7T8の中から 任意に選ばれる1ないし4個の置換基、または隣接した 置換位置で結合したアルキレンによって形成される5な いし8員環であり、

Yは、ハロゲン、 $C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ ハロア ルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_2 \sim C_6$ アルケニルオキ シ、 $C_2 \sim C_6 P$ ルキニルオキシ、 $C_1 \sim C_4 \cap D$ アルコキ シ、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニルオキシ、 $C_2 \sim C_6$ ハロアル キニルオキシ、Cı~C₄アルキルスルフェニル、Cı~ ル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニルスルフェニル、 $C_2 \sim C_6$ アルケ ニルスルフィニル、C₂~C6アルケニルスルホニル、C $_2$ ~ C_6 アルキニルスルフェニル、 C_2 ~ C_6 アルキニルス ルフィニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルスルホニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスル フィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルホニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニルスルフェニル、C2~C6ハロアルケニル スルフィニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニルスルホニル、C2~C6ハロアルキニルスルフェニル、C2~C6ハロアル キニルスルフィニル、C2~C6ハロアルキニルスルホニ ν , NO₂, CN, -NU¹U², OH, C₂~C₇ $\gamma\nu$ キシカルボニル、C2~C4アルコキシアルキル、C2~ C_5 アルキルカルボニルオキシ、 $C_2 \sim C_5$ ハロアルキル カルボニルオキシ、 $C_3 \sim C_7$ ジアルキルアミノカルボニ ルオキシ、Xで置換されていてもよいフェニル、および -N=CT⁷T⁸(但し、T⁷及びT⁸は各々独立に、H: フェニル、ベンジルまたは $C_1 \sim C_6$ アルキルであるか、 T⁷とT⁸とが結合している炭素原子と共に5ないし8員

環を形成していてもよい。)の中から任意に選ばれる1ないし4個の置換基、または隣接した置換位置で結合したアルキレンによって形成される5ないし8員環であり、

Gは、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアル キル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルコキシ、 $C_1 \sim C_4 P \mu + \mu \lambda \mu \lambda \nu + \mu \lambda \nu$ フィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルホニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロ · アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィ ニル、C1~C4ハロアルキルスルホニル、C2~C4アル ケニル、 $C_2 \sim C_4 \cap D$ アルケニル、 $C_2 \sim C_4$ アルケニル オキシ、C2~C4ハロアルケニルオキシ、C2~C4アル ケニルスルフェニル、C2~C4アルケニルスルフィニ ル、C2~C4アルケニルスルホニル、C2~C4ハロアル ケニルスルフェニル、C2~C4ハロアルケニルスルフィ ニル、 $C_2 \sim C_4 \cap C_7 \cap$ ルキニル、 $C_2 \sim C_4 \cap D$ アルキニル、 $C_2 \sim C_4 \cap D$ アルキニ ルオキシ、 $C_2 \sim C_4 \cap C_7 \cap C_7$ ルキニルスルフェニル、C2~C4アルキニルスルフィニ ル、 $C_2 \sim C_4$ アルキニルスルホニル、 $C_2 \sim C_4$ ハロアル キニルスルフェニル、C2~C4ハロアルキニルスルフィ ニル、 $C_2 \sim C_4$ ハロアルキニルスルホニル、 NO_2 、CN、ホルミル、 $C_2 \sim C_6$ アルコキシカルボニル、 $C_2 \sim$ C_4 アルキルカルボニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルキルカルボ ニル、C2~C6アルキルカルボニルオキシおよび-NU 1U2の中から任意に選ばれる1ないし4個の置換基であ

 T^1 は、 $C_1 \sim C_{20}$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 C_1 ~C₆ハロアルキル、C₂~C₅アルコキシアルキル、C₃ \sim C₆ハロシクロアルキル、R^aで置換されたC₁ \sim C₄ア ルキル、C₁~C₃アルキルで置換されていてもよいC₃ $\sim C_6$ シクロアルキル、 R^a で置換された $C_3 \sim C_6$ シクロ アルキル、RªおよびC1~C4アルキルで置換されたシ クロプロピル、Rcおよびハロゲンで置換されたC3~ C₄シクロアルキル、R^dおよびC₁~C₄アルキルで置換 されたシクロプロピル、Rªで置換されたC2~C4アル ケニル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルコキ シ、C₂~C₅アルケニルオキシ、C₁~C₃アルキルで置 換されていてもよいC3~C6シクロアルコキシ、ベンジ ルオキシ、 $C_2 \sim C_5$ アルコキシカルボニル、-NU^{1 U2}、フェニルアミノ、2で置換されていてもよいフェ ニル、Zで置換されていてもよいフェノキシ、Zで置換 されていてもよいフェニルチオ、Zで置換されていても よいナフチルまたは2で置換されていてもよい5ないし 6 員環の複素環基(但し、これらの複素環基はチエニ ル、フリル、ピロリル、オキサゾリル、イソキサゾリ ル、チアゾリル、イソチアゾリル、ピラゾリル、イミダ **ゾリル、1,3,4-オキサジアゾリル、1,2,4-**オキサジアゾリル、1,3,4-チアジアゾリル、1, 2, 4-チアジアゾリル、1, 2, 4-トリアゾリル、

1,2,3ーチアジアゾリル、1,2,3ートリアゾリル、1,2,3,4ーテトラゾリル、ピリジル、ピリミジニル、ピラジニル、ピリグジニル、1,3,5ートリアジニル及び1,2,4ートリアジニルの中から選ばれる。)であり、

 T^2 及び T^3 は、各々独立に、OH、フェニル、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシまたは $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニルであり、

 T^4 、 T^5 及び T^6 は、各々独立に、H、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルケニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキルまたはベンジルであるか、あるいは T^4 、 T^5 及び T^6 のうちの2個が、それぞれが結合している窒素原子と共に酸素原子、窒素原子または硫黄原子を含有していてもよい5ないし8員環基を形成するものであり、

X及びZは、各々独立して、ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_2 \sim C_5$ アルケニルスルフィニル、 $C_2 \sim C_5$ アルケニルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルカニル、 NO_2 、CN、CHO、OH、CHO OH0 O

 T^7 及び T^8 は、各々独立に、H、フェニル、ベンジルまたは $C_1 \sim C_6$ アルキルであるか、あるいは T^7 と T^8 とが結合している炭素原子と共に5ないし8員環を形成してもよく、

 U^1 及び U^2 は、各々独立に、H、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_2 \sim C_5$ アルキルカルボニル、 $C_2 \sim C_5$ アルコキシカルボニル、フェニルまたはベンジルであるか、 U^1 と U^2 とが結合している炭素原子と共に 5 ないし8 員環を形成してもよく、

 R^a は、ハロゲンおよび $C_1 \sim C_4$ アルキルから選ばれる 1 種以上で置換されていてもよいフェニルであり、 R^b は、ハロゲンおよび $C_1 \sim C_4$ アルキルから選ばれる 1 種以上で置換されていてもよいベンゾイルあり、 R^c は、ハロゲンおよび $C_1 \sim C_4$ アルコキシから選ばれる 1 種以上で置換されていてもよいフェニルであり、 R^d は、ハロゲンで置換されていてもよい $C_2 \sim C_4$ アルケニルである。] で表されるイソキサゾール誘導体。 【請求項2】 QがRで置換されたチアゾリルである請

【請求項3】 QがRで置換されたピラゾリルである請求項1記載のイソキサゾール誘導体。

【請求項4】 請求項1ないし3記載のイソキサゾール 誘導体の1種以上を有効成分として含有することを特徴 とする農薬。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、新規なイソキサゾール誘導体ならびに該化合物を有効成分として含有することを特徴とする農薬に関するものである。本発明における農薬とは、殺虫剤、殺ダニ剤、殺線虫剤、除草剤および殺菌剤等であり、特に農園芸、畜産および衛生分野の殺虫剤、殺ダニ剤および殺線虫剤である。

[0002]

【従来の技術】ある種のイソキサゾール誘導体に関しては、国際特許出願公報(WO99/02507号公報)に農薬としての開示がある。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】殺虫剤や殺菌剤の長年にわたる使用により、近年、病害虫が抵抗性を獲得し、従来の殺虫剤や殺菌剤による防除が困難になっている。また殺虫剤の一部は毒性が高く、あるものは残留性により生態系を乱しつつある。よって低毒性かつ低残留性の新規な殺虫剤や殺菌剤の開発が常に期待されている。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明者らは、上記の課題解決にあたり、低薬量で優れた有害生物防除活性を示し、かつホ乳動物、魚類および益虫等の非標的生物に対してほとんど悪影響がない農薬を開発する為に研究を続けた結果、下記の化合物群が安全性が高く優れた有害生物防除活性を示すことを見出し、本発明を完成した。すなわち本発明は、下記〔1〕ないし〔4〕に記載の化合物(以下本発明化合物と称す)および該化合物を有効成分として含有する農薬である。

【0005】(1)式(1):

【化3】



【0007】 [式中、Qは、Rと(R¹)」とで置換されたチアゾリル、またはRと(R¹)」とで置換されたピラゾリルであり、Aは、Wで置換されていてもよいフェニル、Wで置換されていてもよい複素環基(但し、この複素環基は、チエニル、フリル、ピロリル、オキサゾリル、イソキアゾリル、ピラゾリル、1、2、4ーオキサジアゾリル、1、3、4ーチアジアゾリル、1、2、4ートリアゾリル、1、2、4ーチアジアゾリル、1、2、3ートリアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、2、3ートリアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、2、3ートリアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、2、3ーチアジアゾリル、1、3、5ー

トリアジニル、1,2,4-トリアジニル、インダゾリ ル、ベンゾオキサゾリル、キノリニル、イソキノリニ ル、キノキサリニル、フタラジニル、シンノリニルまた はキナゾリニルである。) であり、Rは、Gで置換され ていてもよい複素環基(但し、この複素環基はフリル、 ピロリル、オキサゾリル、イソキサゾリル、チアゾリ ル、イソチアゾリル、ピラゾリル、イミダゾリル、1, 3,4ーオキサジアゾリル、1,2,4ーオキサジアゾ リル、1,3,4ーチアジアゾリル、1,2,4ーチア シアゾリル、1,2,4-トリアゾリル、1,2,3-チアジアゾリル、1,2,3-トリアゾリル、1,2, 3, 4-テトラゾリル、ピリミジニル、ピラジニル、ピ リダジニルー1, 3, 5ートリアジニル、1, 2, 4-トリアジニル、ベンゾチアゾリル、ベンゾイミダゾリ ル、インダゾリル、ベンゾオキサゾリル、キノリニル、 イソキノリニル、キノキサリニル、フタラジニル、シン ノリニルまたはキナゾリニルである。) または [0008] 【化4】



【0009】であり、R1は、ハロゲン、C1~C10アル キル、C₁~C₅アルコキシカルボニル、NO₂、CN、 -NU1U2または-N=CT7T8であり、R2は、H、 $C_1 \sim C_{10} \mathcal{F} \mathcal{N} + \mathcal{N}, C_2 \sim C_6 \mathcal{F} \mathcal{N} \mathcal{F} = \mathcal{N}, C_2 \sim C_6 \mathcal{F}$ ルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケ ニル、C2~C6ハロアルキニル、C3~C6ハロシクロア ルキル、C₁~C₃アルキルで置換されていてもよいC₃ $\sim C_6 \nu \rho D P \nu + \nu$, $C_2 \sim C_4 P \nu D + \nu P \nu + \nu$, CH₃SCH₂、CH₃OC₂H₄OCH₂、R^aで置換され $tC_1 \sim C_4$ アルキル、 R^b で置換された $C_1 \sim C_4$ アルキ ル、 R^a で置換された $C_2 \sim C_4$ アルケニル、テトラヒド ロピラニル、(CH3)3Si、C1~C3アルキルスルホ ニル、ハロゲンもしくは $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換されて いてもよいフェニルスルホニル、-SO2CF3、C1~ C_4 モノアルキルアミノスルホニル、 C_2 \sim C_8 ジアルキ ルアミノスルホニル、フェニルアミノスルホニル、2で 置換されていてもよいピラゾリル、乙で置換されていて もよいイミダゾリル、Zで置換されていてもよいチアゾ リル、乙で置換されていてもよいフェニル、乙で置換さ れていてもよいピリジル、乙で置換されていてもよいピ リミジニル、Zで置換されていてもよいピラジニル、C 2~C5シアノアルキル、C3~Cgアルコキシカルボニル PN+N, -C (=0) T^{I} , -C (=S) T^{I} , -P(=O) T²T³、-P(=S) T²T³、アルカリ金属原 子、アルカリ土類金属原子またはNHT4T5T6であ り、 R^3 は、H、ハロゲン、 $C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_2 \sim$ $C_6 P \nu \tau = \nu$, $C_2 \sim C_6 P \nu \tau = \nu$, $C_1 \sim C_6 \Lambda \tau = \nu$ ルキル、C2~C6ハロアルケニル、C2~C6ハロアルキ

ニル、 $C_3 \sim C_6$ ハロシクロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキル で置換されていてもよいC3~C6シクロアルキル、C1 $\sim C_6 P \mu \exists + i \in C_2 \sim C_6 P \mu f \exists \mu f + i \in C_2 \sim C_6$ ϵ ハロアルケニルオキシ、 $C_2\sim C_6$ ハロアルキニルオキ シ、C₂~C₄アルコキシアルキル、Rªで置換されたC₁ ~C4アルキル、Rbで置換されたC1~C4アルキル、R ªで置換されたC2~C4アルケニル、(CH3)3Si、 C₁~C₄アルキルスルフェニル、C₁~C₄アルキルスル フィニル、C₁~C₄アルキルスルホニル、ハロゲンもし くはC₁~C₄アルキルで置換されていてもよいフェニル スルホニル、 $-SO_2CF_3$ 、 $C_2\sim C_5$ シアノアルキル、 1 U 2 、フェノキシ、フェニルアミノ、 $^{-}$ C (=O) T^1 、-C(=S) T^1 、モルホリニル、ピペリジル、Zで置換されていてもよいピラゾリル、Zで置換されてい てもよいイミダゾリル、2で置換されていてもよいチア ソリル、Zで置換されていてもよいフェニル、Zで置換 されていてもよいピリジル、乙で置換されていてもよい ピリミジニルまたは2で置換されていてもよいピラジニ ルであり、nは、Oまたは1の整数であり、Wは、ハロ ゲン、C₁~C₁₀アルキル、R^aで置換されたC₁~C₄ア ルキル、 $C_2 \sim C_6$ のアルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 \sim C₆ハロアルキニル、C₃ \sim C₆ハロシクロアルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3 \sim C_6$ シク ロアルキル、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル オキシ、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアル コキシ、C2~C6ハロアルケニルオキシ、C2~C6ハロ アルキニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、C1~C4アルキルスルフィニル、C1~C4アルキルスルホ ニル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニルスルフェニル、 $C_2 \sim C_6$ アル ケニルスルフィニル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニルスルホニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルスルフェニル、 $C_2 \sim C_6$ のアルキニ ルスルフィニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルスルホニル、 C_1 ~C4ハロアルキルスルフェニル、C1~C4ハロアルキ ルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4 \cap C_1 \cap C_2 \cap C_3 \cap C_4 \cap C$ 2~C6ハロアルケニルスルフェニル、C2~C6ハロアル ケニルスルフィニル、C2~C6ハロアルケニルスルホニ ル、 $C_2 \sim C_6 \cap C_7 \cap C$ ロアルキニルスルフィニル、C2~C6ハロアルキニルス ルホニル、NO2、CN、-NU1U2、フェノキシ、O H、+7+ μ 、 $C_2 \sim C_7 P \mu 1 + \nu 2 \mu 1 + \nu$ C4アルコキシアルキル、C2~C4アルキルカルボニ ル、 $C_2 \sim C_5$ アルキルカルボニルオキシ、 $C_2 \sim C_5$ ハロ アルキルカルボニルオキシ、Xで置換されていてもよい ベンゾイル、Xで置換されていてもよいフェニル、Xで 置換されていてもよいピリジル、Xで置換されていても よいチエニルおよび-N=CT⁷T⁸の中から任意に選ば れる1ないし4個の置換基、または隣接した置換位置で

結合したアルキレンによって形成される5ないし8員環 であり、Yは、ハロゲン、 $C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_1 \sim C$ $_{6}$ ハロアルキル、 $C_{1}\sim C_{6}$ アルコキシ、 $C_{2}\sim C_{6}$ アルケ ニルオキシ、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロ アルコキシ、 $C_2 \sim C_5$ ハロアルケニルオキシ、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルキニルオキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニ ル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキル スルホニル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニルスルフェニル、 $C_2 \sim$ C_6 P ν τ = ν Δ ν λ ν Δ ν Δ ν λ ν λ ホニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルスルフェニル、 $C_2 \sim C_6$ ア ルキニルスルフィニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニルスルホニ ル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルホニ ル、 $C_2 \sim C_6 \cap C_6 \cap C_2 \sim C_6 \cap C_2 \subset C_6 \cap C_2 \subset C$ ロアルケニルスルフィニル、C2~C6ハロアルケニルス ルホニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルキニルスルフェニル、 C_2 \sim C $_6$ ハロアルキニルスルフィニル、C $_2\sim$ C $_6$ ハロアル キニルスルホニル、NO2、CN、-NU1U2、OH、 $C_2 \sim C_7$ アルコキシカルボニル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシア ルキル、 $C_2 \sim C_5$ アルキルカルボニルオキシ、 $C_2 \sim C_5$ ハロアルキルカルボニルオキシ、 $C_3 \sim C_7$ ジアルキルア ミノカルボニルオキシ、Xで置換されていてもよいフェ ニル、および-N=CT7T8(但し、T7及びT8は各々 独立に、H、フェニル、ベンジルまたは $C_1 \sim C_6$ アルキ ルであるか、 T^7 と T^8 とが結合している炭素原子と共に 5ないし8員環を形成していてもよい。)の中から任意 に選ばれる1ないし4個の置換基、または隣接した置換 位置で結合したアルキレンによって形成されるうないし 8員環であり、Gは、ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、C $_1$ ~ C_4 ハロアルキル、 C_1 ~ C_4 アルコキシ、 C_1 ~ C_4 ハ ロアルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim$ C_4 アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルホニ ル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4 \cap D$ アルキルスルホニ ル、 $C_2 \sim C_4$ アルケニル、 $C_2 \sim C_4$ ハロアルケニル、C $_2$ \sim C_4 アルケニルオキシ、 C_2 \sim C_4 Λ ロアルケニルオキ シ、 $C_2 \sim C_4$ アルケニルスルフェニル、 $C_2 \sim C_4$ アルケ ニルスルフィニル、 $C_2 \sim C_4$ アルケニルスルホニル、C2~C4ハロアルケニルスルフェニル、C2~C4ハロアル ケニルスルフィニル、C₂~C₄ハロアルケニルスルホニ ル、 $C_2 \sim C_4$ アルキニル、 $C_2 \sim C_4$ ハロアルキニル、C $_2\sim C_4$ アルキニルオキシ、 $C_2\sim C_4$ ハロアルキニルオキ シ、 $C_2 \sim C_4$ アルキニルスルフェニル、 $C_2 \sim C_4$ アルキ ニルスルフィニル、 $C_2 \sim C_4$ アルキニルスルホニル、C2~C4ハロアルキニルスルフェニル、C2~C4ハロアル キニルスルフィニル、 $C_2 \sim C_4$ ハロアルキニルスルホニ ル、 NO_2 、CN、ホルミル、 $C_2\sim C_6$ アルコキシカル ボニル、 $C_2 \sim C_4$ アルキルカルボニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロア ルキルカルボニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキルカルボニルオキシ および $-NU^1U^2$ の中から任意に選ばれる1ないし4個

の置換基であり、 T^1 は、 $C_1 \sim C_{20}$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_5$ アルコキ シアルキル、 $C_3 \sim C_6$ ハロシクロアルキル、 R^a で置換 された $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換され ていてもよいC₃~C_€シクロアルキル、R^oで置換され た $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 R^a および $C_1 \sim C_4$ アルキ ルで置換されたシクロプロピル、Rcおよびハロゲンで 置換されたC3~C4シクロアルキル、R0およびC1~C 4アルキルで置換されたシクロプロピル、Raで置換され た $C_2 \sim C_4$ アルケニル、 $C_1 \sim C_{12}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C$ $_4$ ハロアルコキシ、 $C_2\sim C_5$ アルケニルオキシ、 $C_1\sim C$ $_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3\sim C_6$ シクロアル コキシ、ベンジルオキシ、 $C_2 \sim C_5$ アルコキシカルボニ ル、 $-NU^{\dagger}U^{2}$ 、フェニルアミノ、Zで置換されていて もよいフェニル、Zで置換されていてもよいフェノキ シ、2て置換されていてもよいフェニルチオ、2て置換 されていてもよいナフチルまたは2で置換されていても よい5ないし6員環の複素環基(但し、これらの複素環 基はチエニル、フリル、ピロリル、オキサゾリル、イソ キサゾリル、チアゾリル、イソチアゾリル、ピラゾリ ル、イミダゾリル、1,3,4-オキサジアゾリル、 1, 2, 4-オキサジアゾリル、1, 3, 4-チアジア ゾリル、1,2,4-チアジアゾリル、1,2,4-ト リアゾリル、1、2、3-チアジアゾリル、1、2、3 ートリアゾリル、1, 2, 3, 4ーテトラゾリル、ピリ ジル、ピリミジニル、ピラジニル、ピリダジニル、1, 3,5-トリアジニル及び1,2,4-トリアジニルの 中から選ばれる。)であり、T2及びT3は、各々独立 に、OH、 $フェニル、<math>C_1 \sim C_6 \mathcal{P}$ ルキル、 $C_1 \sim C_6 \mathcal{P}$ ル コキシまたは $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニルであり、T⁴、T⁵及びT⁶は、各々独立に、H、C₁∼C₆アルキ ル、 $C_1 \sim C_6$ アルケニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換され ていてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキルまたはベンジルで あるか、あるいはT⁴、T⁵及びT⁶のうちの2個が、そ れぞれが結合している窒素原子と共に酸素原子、窒素原 子または硫黄原子を含有していてもよい5ないし8員環 基を形成するものであり、X及びZは、各々独立して、 ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4 P \mu$ $\exists + \flat$ $C_1 \sim C_4 \Lambda u P \mu$ $\exists + \flat$ $C_1 \sim$ C_4 アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィ ニル、 $C_1 \sim C_5$ アルキルスルホニル、 $C_2 \sim C_5$ アルケニ ルスルフェニル、 $C_2 \sim C_5$ アルケニルスルフィニル、C $_2$ ~ C_5 アルケニルスルホニル、 C_1 ~ C_4 ハロアルキルス ルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 C_1 \sim C $_4$ ハロアルキルスルホニル、 NO_2 、CN、CHO、 $OH, -NU^{\scriptscriptstyle 1}U^{\scriptscriptstyle 2}, {\it D}{\scriptstyle \, x}{\scriptstyle =}{\scriptstyle L}{\scriptstyle L}, {\it D}{\scriptstyle \, x}{\scriptstyle \, J}{\scriptstyle \, \, x}{\scriptstyle \, J}{\scriptstyle \, \, x}{\scriptstyle \, J}{\scriptstyle \, \, x}{\scriptstyle \, J}{\scriptstyle \, \, x}{\scriptstyle \, J}{\scriptstyle \, \, J}{\scriptstyle \, x}{\scriptstyle \,$ C₅アルコキシカルボニルの中から任意に選ばれる1な いし5個の置換基であり、 ${
m T}^7$ 及び ${
m T}^8$ は、各々独立に、 H、7₁-L₁-L₂-L₃-L₄-L₅-L₇-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂-L₂か、あるいは T^7 と T^8 とが結合している炭素原子と共に

うないし8員環を形成してもよく、 U^1 及び U^2 は、各々独立に、H、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_2 \sim C_5$ アルキルカルボニル、 $C_2 \sim C_5$ アルコキシカルボニル、フェニルまたはベンジルであるか、 U^1 と U^2 とが結合している炭素原子と共に5ないし8員環を形成してもよく、 R^e は、ハロゲンおよび $C_1 \sim C_4$ アルキルから選ばれる1種以上で置換されていてもよいフェニルであり、 R^o は、ハロゲンおよび $C_1 \sim C_4$ アルキルから選ばれる1種以上で置換されていてもよいベンゾイルあり、 R^c は、ハロゲンおよび $C_1 \sim C_4$ アルコキシから選ばれる1種以上で置換されていてもよいフェニルであり、 R^d は、ハロゲンで置換されていてもよい $C_2 \sim C_4$ アルケニルである。]で表されるイソキサゾール誘導体。

【0010】 [2] QがRで置換されたチアゾリルである[1] 記載のイソキサゾール誘導体。

【0011】 (3) QがRで置換されたピラゾリルである(1) 記載のイソキサゾール誘導体。

【0012】〔4〕〔1〕ないし〔3〕記載のイソキサ ゾール誘導体の1種以上を有効成分として含有すること を特徴とする農薬。

[0013]

【発明の実施の形態】本発明化合物(1)のRがC=N -OR²部を含む場合には、E体およびZ体の2種の異 性体が存在するが、両者とも本発明に含まれる。 【0014】次にQ、A、G、R、R¹、R²、R³、 Y, W, X, Z, T^1 , T^2 , T^3 , T^4 , T^5 , T^6 , T7、T8、U1およびU2の好ましい範囲を説明する。 -- 【0015】但し、以下のAIないしAIV、RIないし RIII、およびTIIないしTIIIにおける複素環基は以 下の意味を表す。即ち、チエニルはチオフェンー2-イ ルまたはチオフェンー3ーイルであり、フリルはフラン -2-イルまたはフラン-3-イルであり、ピロリルは ピロールー1ーイル、ピロールー2ーイルまたはピロー ル-3-イルであり、オキサゾリルはオキサゾール-2 -イル、オキサゾール-4-イルまたはオキサゾール-5-イルであり、チアゾリルはチアゾール-2-イル、 チアゾールー4ーイルまたはチアゾールー5ーイルであ り、イミダゾリルはイミダゾール-1-イル、イミダゾ ールー2-イルまたはイミダゾールー4-イルであり、 イソキサゾリルはイソキサゾール-3-イル、イソキサ ゾール-4-イルまたはイソキサゾール-5-イルであ り、イソチアゾリルはイソチアゾールー3ーイル、イソ チアゾール-4-イルまたはイソチアゾール-5-イル であり、ピラゾリルはピラゾールー1ーイル、ピラゾー ル-3-イル、ピラゾール-4-イルまたはピラゾール -5-イルであり、1,3,4-オキサジアゾリルは 1,3,4-オキサジアゾール-2-イルであり、1, 3, 4-チアジアゾリルは1, 3, 4-チアジアゾール -2-イルであり、1,2,4-オキサジアゾリルは

2, 4-オキサジアゾールー5-イルであり、<math>1, 2,4-チアジアゾリルは1,2,4-チアジアゾール-3 - イルまたは1, 2, 4-チアジアゾール-5-イルで あり、1,2,4-トリアゾリルは1,2,4-トリア ゾールー1ーイル、1、2、4ートリアゾールー3ーイ ルまたは1,2,4-トリアゾール-4-イルであり、 1, 2, 3-チアジアゾリルは1, 2, 3-チアジアゾ ールー4ーイルまたは1,2,3ーチアジアゾールー5 ーイルであり、1,2,3-トリアゾリルは1,2,3 ートリアゾールー1ーイル、1,2,3ートリアゾール -2-4ルまたは1, 2, 3-トリアゾール-4-4ル であり、1, 2, 3, 4-テトラゾリルは1, 2, 3, 4-テトラゾール-1-イル、1,2,3,4-テトラ ゾールー2ーイルまたは1,2,3,4ーテトラゾール -5-イルであり、ピリジルはピリジン-2-イル、ピ リジン-3-イルまたはピリジン-4-イルであり、ピ リミジニルはピリミジン-2-イル、ピリミジン-4-イルまたはピリミジンー5ーイルであり、ピラジニルは ピラジンー2ーイルであり、ピリダジニルはピリダジン -3-イルまたはピリダジン-4-イルであり、1. 3.5-トリアジニルは1.3,5-トリアジン-2-イルであり、1,2,4-トリアジニルは1,2,4-トリアジン-3-イル、1、2、4-トリアジン-5-イルまたは1,2,4-トリアジン-6-イルである。 【0016】好ましいAの範囲は以下に示す各群であ

【0017】即ち、 AI:フェニル、チエニル、フリル、ピロリル、オキサゾリル、イソキサゾリル、チアゾリル、ピラゾリル、イミダゾリル、1,2,4-トリアゾリル、1,2,3-チアジアゾリル、ピリジル、ピリジニル、ピラジニルおよびピリダジニル。

【0018】AII: フェニル、チアゾリル、ピラゾリル、ピリジルおよびピリミジニル。

【0019】AIII: チアゾリル、ピラゾリルおよびピリジル。

【0020】AIV: チアゾリル。AV: ピラゾリル。AV I: ピリジル。

【0021】好ましいGの範囲は以下に示す各群である。

ニル、 $C_3 \sim C_4$ アルケニルスルフィニル、 $C_3 \sim C_4$ アル ケニルスルホニル、 $C_3 \sim C_4$ アルキニルスルフェニル、 スルホニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 C_1 \sim C₄ハロアルキルスルフィニル、C₁ \sim C₄ハロアルキ ルスルホニル、 $C_3 \sim C_4 \cap D$ アルケニルスルフェニル、 $C_3 \sim C_4 \cap D^2 \mathcal{N}$ $C_3 \sim C_4 \cap D^2 \mathcal{N}$ ルケニルスルホニル、 $C_3 \sim C_4 \cap D$ アルキニルスルフェ ニル、 $C_3 \sim C_4 \cap D$ アルキニルスルフィニル、 $C_3 \sim C_4$ ハロアルキニルスルホニル、 NO_2 、CN、-NU $^1\,\mathrm{U}^2$ 、ハロゲンもしくは $\mathrm{C}_1\!\sim\!\mathrm{C}_4\,$ アルキルで置換されて いてもよいフェニルで置換されたメトキシ、 $C_2 \sim C_6$ ア ルコキシカルボニル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシアルキル、C $_2 \sim C_4$ アルキルカルボニル、 $C_2 \sim C_4$ ハロアルキルカル ボニル、 $C_2 \sim C_5$ アルキルカルボニルオキシ、 $C_2 \sim C_5$ ハロアルキルカルボニルオキシ、 $C_3 \sim C_7$ ジアルキルア ミノカルボニルオキシ、2で置換されていてもよいフェ ニル、Zで置換されていてもよいフェノキシ、Zで置換 されていてもよいベンゾイル、Zで置換されていてもよ いピリジル及びZで置換されていてもよいピリジルオキ シの中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が 2個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。) であ って、その置換基の数は1、2、3または4個である か、または隣接した置換位置で結合したアルキレンによ って形成される5員環、6員環、7員環もしくは8員環

【0023】GII::ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルホニル、 NO_2 、 $-NU^1U^2$ 、 $C_2 \sim C_6$ アルコキシカルボニル、 $C_2 \sim C_5$ アルキルカルボニルオキシ、 $C_3 \sim C_7$ ジアルキルアミノカルボニルオキシ及びZ で置換されていてもよいフェニル(但し、その置換基が2 個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換基の数は1 または2 個である。

【0024】 $GIII: Nロゲン、<math>C_1 \sim C_6 P$ ルキル、 NO_2 、 $-NU^1U^2$ 及びZで置換されていてもよいフェニルの中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換基の数は1個である。

【0025】好ましいRの範囲は以下に示す各群である。

【0026】即ち、RI:フリル、ピロリル、オキサゾリル、イソキサゾリル、チアゾリル、イソチアゾリル、ピラゾリル、イミダゾリル、1,3,4ーオキサジアゾリル、1,2,4ーオキサジアゾリル、1,2,4ートリアゾリル、1,2,3ーチアジアゾリル、1,2,3ートリアゾリル、1,2,3ートリアゾリル、1,2,3ーテトラゾリル、ピリミジニル、ピラジニル、ピリダジニル、1,

3,5-トリアジニル、1,2,4-トリアジニル、ベンゾチアゾリル、ベンゾイミダゾリル、インダゾリル、ベンゾオキサゾリル、キノリニル、イソキノリニル、キノキサリニル、フタラジニル、シンノリニル、キナゾリニルおよび

[0027]

【化5】



[0028].

[0030]

【化6】



[0031].

【0032】RIII:チアゾリル、ピリミジニル、ピラ ジニルおよび

[0033]

【化7】



[0034]

【0035】好ましいR1の範囲は以下に示す各群である。

【0036】即ち、 R^{11} : ハロゲン、 $C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_1 \sim C_5$ アルコキシカルボニル、 NO_2 、CN、 $-NU^1U^2$ 、 $-N=CT^7T^8$ 。

【0037】 $R^{1}H:$ ハロゲン、 $C_{1}\sim C_{10}$ アルキル、 $C_{1}\sim C_{5}$ アルコキシカルボニル。

【0038】好ましい R^2 の範囲は以下に示す各群である。

【0039】即ち、 $R^2I: H, C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシアルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシアルキル、 $C_3 \sim C_6$ アル音ル、 $C_4 \sim C_4$ アルキル、 $C_4 \sim C_4$ アルキル、 $C_5 \sim C_6$ アルキル・ $C_5 \sim C_6$ アルキャル・ $C_5 \sim C_6$ アルキャル・

【0040】R 2 II: $C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシアルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシアルキル、 $C_3 \sim C_6$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルコキシアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換されていてもよいフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換されていてもよいフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_2 \sim C_5$ シアノアルキル、 $C_1 \sim C_2 \sim C_5$ シアノアルキル、 $C_2 \sim C_5$ ンアノアルキル、 $C_2 \sim C_5$ ンアノアルキル、 $C_1 \sim C_2 \sim C_5$ ンアノアルキル、 $C_2 \sim C_5$ ンアノアルキル、 $C_3 \sim C_6$ ンアノアルキル 、 $C_3 \sim C_6$ ンアルキル 、 $C_3 \sim C_6$ ンアル 、 $C_3 \sim C_6$ ンアルキル 、 $C_3 \sim C_6$ ンアル 、 $C_3 \sim$

【0041】 $R^2III: C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルケニル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルキニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、 R^a で置換された $C_1 \sim C_4$ アルキル、テトラヒドロピラニル、Zで置換されていてもよいフェニル、Zで置換されていてもよいピリジル、Zで置換されていてもよいピリジル、Zで置換されていてもよいピリミジニルおよび-C(=0) T^1 。【0042】好ましい R^3 の範囲は以下に示す各群である。

【0043】即ち、R31: H、ハロゲン、C1~C10ア ルキル、 $C_2 \sim C_6 P \mu$ ケニル、 $C_2 \sim C_6 P \mu$ キニル、C $_1$ ~ C_6 ハロアルキル、 C_2 ~ C_6 ハロアルケニル、 C_2 ~ C₆ハロアルキニル、C₃~C₆ハロシクロアルキル、C₁ ~C3アルキルで置換されていてもよいC3~C6シクロ アルキル、C1~C6アルコキシ、C1~C6ハロアルコキ シ、Raで置換されたC1~C4アルキル、Raで置換され たC2~C4アルケニル、C1~C4アルキルスルフェニ ル、 $C_1 \sim C_4 P$ ルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4 P$ ルキル スルホニル、ハロゲンもしくはC₁~C₄アルキルで置換 されていてもよいフェニルスルホニル、CN、-NUI U^2 、フェノキシ、フェニルアミノ、-C (=O) T^1 、 -C(=S)T1、モルホリニル、ピペリジル、Zで置 換されていてもよいピラゾリル、2で置換されていても よいイミダゾリル、2で置換されていてもよいチアゾリ ル、Zで置換されていてもよいフェニル、Zで置換され ていてもよいピリジル、2で置換されていてもよいピリ

ミジニルおよび乙で置換されていてもよいピラジニル。【0044】 $R^3II: H、ハロゲン、C_1 \sim C_{10}$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_2 \sim C_6$ アルキニル、 $C_1 \sim C_6$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_6$ ハロアルキニル、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、C Nおよび乙で置換されていてもよいつよいフェニル。

【0045】好ましいnの範囲はn1:0または1であり、nII:0である。

【0046】好ましいYの範囲は以下に示す各群である。

【0047】即ち、YI:ハロゲン、C1~C6アルキ ル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 C_7 $\sim C_4 P \mu \tau = \mu \tau + \nu \cdot C_2 \sim C_4 P \mu \tau = \mu \tau + \nu \cdot \nu$ $C_1 \sim C_4 \wedge DP \nu J + b \times C_2 \sim C_4 \wedge DP \nu J + b \times C_1 \sim C_4 \wedge DP \nu J + b \times C_2 \sim C_4 \wedge DP \nu J + b \times C_1 \sim C_4 \wedge DP \nu J + b \times C_2 \sim C_4 \wedge DP \nu J + b \times C_4 \wedge DP \nu J + b \times$ シ、C2~C4ハロアルキニルオキシ、C1~C4アルキル スルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim$ C_4 P ν + ν ニル、C3~C4アルケニルスルフィニル、C3~C4アル ケニルスルホニル、C₃~C₄アルキニルスルフェニル、 スルホニル、C₁~C₄ハロアルキルスルフェニル、C₁ ~C4ハロアルキルスルフィニル、C1~C4ハロアルキ ルスルホニル、 $C_3 \sim C_4$ ハロアルケニルスルフェニル、 $C_3 \sim C_4 \cap D \cap D \cap C_3 \sim C_4 \cap D \cap C_4 \cap$ ルケニルスルホニル、 $C_3 \sim C_4$ ハロアルキニルスルフェ ニル、 $C_3 \sim C_4$ ハロアルキニルスルフィニル、 $C_3 \sim C_4$ ハロアルキニルスルホニル、NO2、CN、-NU 1 U 2 、 C_{2} ~ C_{4} 2 2 2 3 4 2 3 4 5 キシアルキル、C₂~C₄アルキルカルボニルオキシ、C 2~C4ハロアルキルカルボニルオキシまたはXで置換さ れていてもよいフェニルの中から任意に選ばれる置換基 (但し、その置換基が2個以上の場合は同一か相互に異 なってもよい。)であって、その置換基の数は1、2ま たは3個である。

【0049】Yが置換する複素環の種類によってYの数は異なり、その複素環が1,3,4-オキサジアゾリル、1,2,4-オキサジアゾリル、1,3,4-チアジアゾリル、1,2,3

ーチアジアゾリルまたは1.2.3,4ーテトラゾリルの場合にはYの数は0または1であり、好ましくは1である。その複素環がチアゾリル、オキサゾリル、イソオキサゾリル、イソチアゾリル、1,3,4ートリアゾリル、1,2,4ートリアゾリル、1,2,4ートリアゾリル、1,2,4ートリアジニルまたは1,2,4ートリアジニルの場合には2である。その複素環がチエニル、フリル、ピラゾリル、ピリミジニル、ピラジニルまたはピリダジニルの場合にはYの数は0から3の整数であり、より好ましくは1または2である。その複素環がピロリルまたはピリジルの場合にはYの数は0から4の整数であり、より好ましくは1または2である。その複素環がピロリルまたはピリジルの場合にはYの数は0から4の整数であり、好ましくは0から3の整数であり、より好ましくは1または2である。

【0050】好ましいWの範囲は以下に示す各群である。

【0051】即ち、WI:ハロゲン、 $C_1 \sim C_6$ アルキ ル、 $C_1 \sim C_4 \cap D$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 C_1 \sim C $_4$ ハロアルコキシ、 C_1 \sim C $_4$ アルキルスルフェニ ル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキル スルホニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 C_1 \sim C₄ハロアルキルスルフィニル、C₁ \sim C₄ハロアルキ ルスルホニル、 $C_3 \sim C_4$ アルケニルオキシ、 $C_3 \sim C_4$ ハ ロアルケニルオキシ、C₃~C₄アルケニルスルフェニ ル、 $C_3 \sim C_4$ アルケニルスルフィニル、 $C_3 \sim C_4$ アルケ ニルスルホニル、C₃~C₄ハロアルケニルスルフェニ ル、C₃~C₄ハロアルケニルスルフィニル、C₃~C₄ハ ロアルケニルスルホニル、C3~C4アルキニルオキシ、 $C_3 \sim C_4 T \nu$ += ν 1, ν 2, ν 3, ν 6, ν 6, ν 7, ν 4, ν 7, ν 8, ν 9, ν 9, スルフィニル、 $C_3 \sim C_4$ アルキニルスルホニル、N $O_2,\ C\,N,\ C_2{\sim}C_4{\it PN}{\it J}{\it T}{\it L}{\it J}{\it L}{\it L}{\it L},\ C_2{\sim}C_4$ アルキルカルボニル、C2~C4ハロアルキルカルボニ ル、 $C_2 \sim C_4$ アルキルカルボニルオキシおよび- NU^1U^2 の 中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個 以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であっ て、その置換基の数は1、2、3または4個である。 【0052】WII:ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 C_1 \sim C₄ハロアルキル、C₁ \sim C₄アルコキシ、C₁ \sim C₄ハ ロアルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim$ ル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロ アルキルスルフィニル、C₁~C₄ハロアルキルスルホニ ル、 $C_3 \sim C_4$ アルケニルオキシ、 $C_3 \sim C_4$ ハロアルケニ ルオキシ、 $C_3 \sim C_4$ アルケニルスルフェニル、 $C_3 \sim C_4$ アルケニルスルフィニル、 $C_3 \sim C_4$ アルケニルスルホニ ル、C3~C4アルキニルオキシ、C3~C4アルキニルス ルフェニル、 $C_3 \sim C_4$ アルキニルスルフィニル、 $C_3 \sim$ C_4 アルキニルスルホニル、 NO_2 、CN、の中から任意 に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個以上の場合

は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換 基の数は1、2または3個である。

【0053】WIII: ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルホニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルカン・エル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルホニル、 NO_2 、CN、の中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換基の数は1または2個である。

【0054】好ましい T^1 の範囲は以下に示す各群である。

【0055】即ち、T11:C1~C18アルキル、C2~C キシー $C_1 \sim C_4$ アルキル、ハロゲンもしくは $C_1 \sim C_4$ ア ルキルで置換されていてもよいフェニルで置換されたC $_1$ ~ C_4 アルキル、 C_3 ~ C_6 ハロシクロアルキル、 C_1 ~ C_3 アルキルで置換されていてもよい C_3 \sim C_6 シクロア ルキル、ハロゲンもしくは $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換され ていてもよいフェニルで置換されたC3~C6シクロアル キル、ハロゲンもしくは $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換されて いてもよいフェニルで置換された $C_2 \sim C_4$ アルケニル、 $C_1 \sim C_{10}$ \mathcal{P} \mathcal{V} C_5 アルケニルオキシ、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されて いてもよい $C_3\sim C_6$ シクロアルコキシ、ベンジルオキ シ、C₂~C₅アルコキシカルボニル、-NU1U2、Zで 置換されていてもよいフェニル、Zで置換されていても よいフェノキシ、2で置換されていてもよいフェニルチ オ、ナフチルまたはZで置換されていてもよい複素環基 (但し、この複素環基はチエニル、フリル、ピロリル、 オキサゾリル、イソキサゾリル、チアゾリル、ピラゾリ ル、イミダゾリル、1,3,4-オキサジアゾリル、 1, 2, 4-オキサジアゾリル、1, 3, 4-チアジア ゾリル、1, 2, 4-チアジアゾリル、1, 2, 4-ト リアゾリル、1,2,3-チアジアゾリル、1,2,3 ートリアゾリル、1,2,3,4-テトラゾリル、ピリ ジル、ピリミジニル、ピラジニル、ピリダジニル、1, 3, 5-トリアジニルまたは1, 2, 4-トリアジニル の中から選ばれる。)である。

【0056】 $T^1II: C_1 \sim C_{18}$ アルキル、 $C_2 \sim C_6$ アルケニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_2 \sim C_4$ アルコキシアルキル、ハロゲンもしくは $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換された $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換された $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、ハロゲンもしくは $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換されていてもよいフェニルで置換された $C_3 \sim C_6$ シクロアルキル、ハロゲンもしくは $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換されていてもよいフェニルで置換された $C_2 \sim C_4$ アルケニ

ル、 $C_1 \sim C_{10}$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルコキシ、 $C_3 \sim C_6$ アルケニルオキシ、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルコキシ、ベンジルオキシ、 $C_2 \sim C_5$ アルコキシカルボニル、 Z で置換されていてもよいフェニル、Z で置換されていてもよいフェール・Z で置換されていてもよい複素環基(但し、この複素環基はチエニル、フリル、オキサゾリル、チアゾリル、ピラゾリルまたはピリジルの中から選ばれる。)である。

【0058】好ましいT²の範囲は以下に示す群である。

【0060】好ましいT³の範囲は以下に示す群である。

 $-【0061】即ち、<math>T^{3}I: フェニル、<math>C_1 \sim C_6 P n + n$ 、 $C_1 \sim C_6 P n + n$ または $C_1 \sim C_4 P n + n$ スルフェニルである。

【0062】好ましいTiの範囲は以下に示す群である。

【0063】即ち、 T^4 I: H、 $C_1 \sim C_4$ Tルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキルまたはベンジルであるか、あるいは T^4 、 T^5 及び T^6 のうちの2個が、それぞれが結合している窒素原子と共に酸素原子、窒素原子もしくは硫黄原子を含有していてもよい5 員環、6 員環または7 員環基を形成するものである。

【 0 0 6 4 】 好ましいT⁵の範囲は以下に示す群である。

【0065】即ち、 $T^51: H, C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキルまたはベンジルであるか、あるいは T^4 、 T^5 及び T^6 のうちの2個が、それぞれが結合している窒素原子と共に酸素原子、窒素原子もしくは硫黄原子を含有していてもよい5 員環、6 員環または7 員環基を形成するものである。

【0066】好ましいT®の範囲は以下に示す群である。

【0067】即ち、 $T^{6}I: H, C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_3 \sim C_6$ シクロアルキルまたはベンジルであるか、あるい

はT⁴、T⁵及びT⁶のうちの2個が、それぞれが結合している窒素原子と共に酸素原子、窒素原子もしくは硫黄原子を含有していてもよい5員環、6員環または7員環基を形成するものであり、好ましいXの範囲は以下に示す各群である。

【0068】即ち、XI: ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_3 \sim C_5$ アルケニルスルフェニル、 $C_3 \sim C_5$ アルケニルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルカーエル、 NO_2 、CN、 NU^1U^2 または $C_2 \sim C_5$ アルカーキシカルボニルの中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換基の数は1、2、3個である。

【0069】XII: ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 C_1 $\sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルホニル、 $C_2 \sim C_5$ アルケニルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルホニル、 NO_2 の中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換基の数は1、2、3個である。

【0070】XIII: ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、の中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換基の数は1または2個である。

【0071】Xが置換する環によってXの数は異なり、その環がフェニルの場合にはXの数は0から5の整数であり、好ましくは0から3の整数である。その環がピリジルの場合にはXの数は0から4の整数であり、好ましくは0、1または2であり、より好ましくは0または1である。チエニルの場合にはXの数は0から3の整数であり、好ましくは0または1である。

【0072】好ましいZの範囲は以下に示す各群である。

【0073】即ち、Z1: ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルマルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_3 \sim C_5$ アルケニルスルフェニル、 $C_3 \sim C_5$ アルケニルスルオニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスル

ホニル、 NO_2 、CN、 $-NU^1U^2$ または $C_2\sim C_5$ アルコキシカルボニルの中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換基の数は1、2、3または4個である。

【0074】211: ハロゲン、 $C_1 \sim C_4$ アルキル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキル、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルコキシ、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ アルキルスルホニル、 $C_3 \sim C_5$ アルケニルスルフェニル、 $C_3 \sim C_5$ アルケニルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフェニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルフィニル、 $C_1 \sim C_4$ ハロアルキルスルホニルの中から任意に選ばれる置換基(但し、その置換基が2個以上の場合は同一か相互に異なってもよい。)であって、その置換基の数は1、2、3 または4 個である。

【0075】乙が置換する環の種類によって乙の数は異 なり、Zが置換する環がフェニルの場合にはZの数はO から5の整数であり、好ましくは0から4の整数であ り、より好ましくは0、1、2または3である。2が置 換する環がナフチルの場合には2の数は0から7の整数 であり、好ましくは0である。2が置換する環が複素環 基の場合には乙の数は複素環によって異なり、その複素 環が1,3,4-オキサジアゾリル、1,2,4-オキ サジアゾリル、1,3,4-チアジアゾリル、1,2, 4-チアジアゾリル、1.2,3-オキサジアゾリル、 1, 2, 3ーチアジアゾリル、1, 2, 3, 4ーテトラ ゾリルまたは1,2,3,5ーテトラゾリルの場合には Zの数はOまたは1である。その複素環がチアゾリル、 オキサゾリル、イソオキサゾリル、イソチアゾリル、 1, 3, 4-トリアゾリル、1, 2, 4-トリアゾリ ル、1,2,3-トリアゾリル、1,3,5-トリアジ ニル、1、2、4ートリアジニルまたは1、2、4ート リアジニルの場合にはZの数はOから2の整数であり、 好ましくは1または2である。その複素環がチエニル、 フリル、ピラゾリル、イミダゾリル、ピリミジニル、ピ ラジニルまたはピリダジニルの場合には2の数は0から 3の整数であり、好ましくは0から2の整数であり、よ り好ましくは1または2である。その複素環がピロリル またはピリジルの場合には2の数は0から4の整数であ り、好ましくは0から2の整数であり、より好ましくは 1または2である。

【0076】好ましい T^7 の範囲は以下に示す群である。

【0077】即ち、 $T^71: H$ 、 $フェニル、ベンジルまたは<math>C_1 \sim C_4$ アルキルであるか、あるいは T^7 と T^8 とが結合している炭素原子と共に5員環または6員環を形成する。

【0078】好ましいT®の範囲は以下に示す群である。

【0079】即ち、 $T^8I: フェニル、ベンジルまたはCi^Ci^Ci^R$ であるか、あるいは T^7 と T^8 とが結合している炭素原子と共に5員環または6員環を形成する。【0080】好ましい U^1 の範囲は以下に示す群である。

【 0081】即ち、 $U^1: H$ 、 $C_1 \sim C_4$ アルキルまたは $C_2 \sim C_5$ アルキルカルボニルであるか、 $U^1 \succeq U^2 \succeq$ が結合している炭素原子と共に5 員環、6 員環、7 員環を形成していてもよい。

【0082】好ましいU2の範囲は以下に示す群である。

【0083】即ち、 $U^21:H$ 、 $C_1\sim C_4$ アルキルまたは $C_2\sim C_5$ アルキルカルボニルであるか、 U^1 と U^2 とが結合している炭素原子と共に5 員環、6 員環、7 員環を形成していてもよい。上述の好ましい置換基の範囲における各群はそれぞれ任意に組み合わせる事ができ、以下に特に好ましい本発明化合物の範囲を挙げる。

【0084】即ち、好ましい置換基の範囲がAI、GI、RI、R¹I、R²I、R³I、nI、YI、WI、T¹I、T²I、T³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XI、ZI、T⁷I、T⁸I、U¹IとU²Iである本発明化合物。

【0085】好ましい置換基の範囲がAII、GII、RI、R¹II、R²I、R³I、nl、YI、WI、T¹I、T²I、T³I、T⁴I、T⁵I、T⁵I、XI、ZI、T⁷I、T⁸I、U¹IとU²Iである本発明化合物。

【0086】好ましい置換基の範囲がAII、GIII、R I、R²I、R³I、nII、YI、WI、T¹I、T²I、T ³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XI、ZI、T⁷I、T⁸I、U¹」と U²Iである本発明化合物。

【 0 0 8 7 】 好ましい置換基の範囲がAIII、GIII、R I、R² I、R³ I、nII、YI、T¹I、T²I、T³I、T ⁴I、T⁵I、T⁶I、XI、ZI、T⁷I、T⁸I、U¹IとU²Iである本発明化合物。

【0088】好ましい置換基の範囲がAIII、GII、RI I、R¹II、R²I、R³I、nI、YII、T¹II、T²I、T ³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XII、ZII、T⁷I、T⁸I、U¹I とU²Iである本発明化合物。

【0089】好ましい置換基の範囲がAIII、GIII、R III、R¹II、R²II、R³II、nI、YII、T¹III、T ²I、T³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XIII、ZII、T⁷I、T⁸ I、U¹IとU²Iである本発明化合物。

【0090】好ましい置換基の範囲がAIII、GIII、R III、R²II、R³II、nII、YII、T¹III、T²I、T ³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XIII、ZII、T⁷I、T⁸I、U¹ IとU²Iである本発明化合物。

【0091】好ましい置換基の範囲がAIV、GIII、RI II、R²II、R³II、nII、YII、T¹III、T²I、T³I、 T⁴I、T⁵I、T⁶I、XIII、ZII、T⁷I、T⁸I、U¹Iと U²Iである本発明化合物。

【0092】好ましい置換基の範囲がAIV、GIII、RI

II、R²III、R³II、n II、YII、T¹III、T²I、T³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XIII、Z II、T⁷I、T⁸I、U¹IとU²Iである本発明化合物。

【0093】好ましい置換基の範囲がAV、GIII、RIII、R²II、R³II、nII、YII、T¹III、T²I、T³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XIII、ZII、T⁷I、T⁸I、U¹IとU²Iである本発明化合物。

【0094】好ましい置換基の範囲がAV、GIII、RIII、R²III、R³II、nII、YII、T¹III、T²I、T³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XIII、ZII、T⁷I、T⁶I、U¹IとU²Iである本発明化合物。

【0095】好ましい置換基の範囲がAVI、GIII、RI II、R²II、R³II、nII、Y-II、T¹III、T²I、T³I、 T⁴I、T⁵I、T⁶I、XIII、ZII、T⁷I、T⁸I、U¹Iと U²Iである本発明化合物。

【0096】好ましい置換基の範囲がAVI、GIII、RI II、R²III、R³II、nII、YII、T¹III、T²I、T ³I、T⁴I、T⁵I、T⁶I、XIII、ZII、T⁷I、T⁸I、U¹ IとU²Iである本発明化合物。

【0097】次にQ、A、G、R、 R^1 、 R^2 、 R^3 、Y、W、X、Z、 T^1 、 T^2 、 T^3 、 T^4 、 T^5 、 T^6 、 T^7 、 T^8 、 U^1 または U^2 の定義における各原子および基の例を示す。

【0098】G、R¹、R³、W、X、YまたはZの定義 におけるハロゲン原子としては、フッ素原子、塩素原 子、臭素原子及びヨウ素原子があげられ、好ましくはフ ッ素原子、塩素原子及び臭素原子があげられる。

[0099] R1 , R2 , R3 , G , T1 , T2 , T3 , T^4 , T^5 , T^6 , T^7 , T^8 , U^1 , U^2 , W, X, Y \sharp tは乙の定義におけるアルキルとしては、直鎖または分岐 状のアルキルとしてメチル、エチル、n-プロピル、イ ソプロピル、n-ブチル、イソブチル、tert-ブチ ル、sec-ブチル、ペンチル-1、ペンチル-2、ペ ンチルー3、2ーメチルブチルー1、2ーメチルブチル -2、2-メチルブチル-3、3-メチルブチル-1、 2, 2-ジメチルプロピル-1、ヘキシル-1、ヘキシ ルー2、ヘキシルー3、1ーメチルペンチル、2ーメチ ルペンチル、3-メチルペンチル、4-メチルペンチ ル、1, 1 – ジメチルブチル、1, 2 – ジメチルブチ ル、1, 3-ジメチルブチル、2, 2-ジメチルブチ ル、2、3-ジメチルブチル、3、3-ジメチルブチ ル、1-エチルブチル、2-エチルブチル、1,1,2 ートリメチルプロピル、1,2,2ートリメチルプロピ ル、1 -エチル-1 -メチルプロピル、1 -エチル-2 ーメチルプロピル、nーヘプチル、nーオクチル、nー ノニル、n-ウンデシル、n-ドデシル、n-トリデシ ル、n-テトラデシル、n-ペンタデシル、n-ヘキサ デシル、nーヘプタデシル、n-オクタデシル、n-ノ ナデシル、n-イコシル等があげられ、各々の指定の炭 素数の範囲で選択される。

【0100】G、R²、R³、T¹、T⁴、T⁵、T⁶または Wの定義におけるアルケニルとしては、直鎖または分岐 状のアルケニルとしてエテニル、1-プロペニル、2-プロペニル、1ープテニル、2ープテニル、3ープテニ ル、1-メチル-2-プロペニル、2-メチル-2-プ ロペニル、1-ペンテニル、2-ペンテニル、3-ペン テニル、4-ペンテニル、1-メチル-2-ブテニル、 2-メチルー2-ブテニル、3-メチルー2-ブテニ ル、1-メチル-3-ブテニル、2-メチル-3-ブテ ニル、3-メチル-3-ブテニル、1,1-ジメチル-2-プロペニル、1,2-ジメチル-2-プロペニル、 1-エチル-2-プロペニル、1-ヘキセニル、2-ヘ キセニル、3-ヘキセニル、4-ヘキセニル、5-ヘキ セニル、1-メチル-2-ペンテニル、2-メチル-2 -ペンテニル、3-メチル-2-ペンテニル、4-メチ ルー2-ペンテニル、1-メチル-3-ペンテニル、2 -メチル-3-ペンテニル、3-メチル-3-ペンテニ ル、4-メチル-3-ペンテニル、1-メチル-4-ペ ンテニル、2-メチル-4-ペンテニル、3-メチル-4-ペンテニル、4-メチル-4-ペンテニル、1,1 ージメチルー2ーブテニル、1,1ージメチルー3ーブ テニル、1,2-ジメチルー2-ブテニル、1,2-ジ メチルー3ープテニル、1、3ージメチルー2ープテニ ル、1、3-ジメチル-3-ブテニル、2、3-ジメチ ルー2ーブテニル、2,3ージメチルー3ーブテニル、 3, 3-ジメチルー2-ブテニル、1-エチルー2-ブ テニル、1-エチル-3-プテニル、2-エチル-2-ブテニル、2-エチル-3-ブテニル、1,1,2-ト リメチルー2ープロペニル、1-エチル-1-メチルー 2-プロペニルなどがあげられ、各々の指定の炭素数の 範囲から選択される。

【0101】G、R²、R³またはWの定義におけるアル キニルとしては、直鎖または分岐状のアルキニルとして エチニル、1ープロピニル、2ープロピニル、1ーブチ ニル、2ーブチニル、3ーブチニル、1ーメチルー2ー プロピニル、1ーペンチニル、2ーペンチニル、3ーペ ンチニル、4-ペンチニル、1-メチル-2-ブチニ ル、1-メチル-3-ブチニル、2-メチル-3-ブチ ニル、ヘキシニル、1-メチル-3-ペンチニル、1-メチルー4ーペンチニル、2ーメチルー3ーペンチニ ル、2-メチル-4-ペンチニル、3-メチル-4-ペ ンチニル、4-メチル-2-ペンチニル、1,1-ジメ チルー2-ブチニル、1,1-ジメチル-3-ブチニ ル、1, 2 - ジメチル - 3 - ブチニル、2, 2 - ジメチ ルー3ープチニル、1ーエチルー2ープチニル、1ーエ チルー3ーブチニル、2ーエチルー3ーブチニルなどが あげられ、各々の指定の炭素数の範囲から選択される。 【0102】G、R²、R³、T¹、W、X、YまたはZ の定義におけるハロアルキルとしては、直鎖または分岐 状のハロアルキルとしてフルオロメチル、クロロメチ

ル、ブロモメチル、フルオロエチル、クロロエチル、ブロモエチル、フルオローnープロピル、クロローnープロピル、ジフルオロメチル、クロロジフルオロメチル、トリフルオロメチル、ドリフルオロエチル、トリフルオロエチル、トリフルオロエチル、トリフルオロエチル、クロロジフルオロメチル、ブロモジフルオロメチル、トリフルオロクロロエチル、ヘキサフルオローnープロピル、クロロブチル、フルオロブチル、クロローnーペンチル、フルオローnーペンチル、フルオローnーペンチル、フルオローnーペンチル、クロローnーペキシル、フルオローnーペキシルなどがあげられ、各々の指定の炭素数の範囲から選択される。

【0103】 R^2 、 R^3 、W、 T^1 、 T^4 、 T^5 または T^6 の 定義における、 $C_1 \sim C_3$ アルキルで置換されていてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルキルとしては、シクロプロピル、1-x チルシクロプロピル、2, 2, 3, 3, - テトラメチルシクロプロピル、シクロブチル、1-x チルシクロプロピル、シクロブチル、1-x チルシクロペンチル、1-x チルシクロペンチル、1-x チルシクロペキシル、1-x チルシクロヘキシル、1-x があげられる。

【0104】R²、R³、WまたはT¹の定義における、 R^a で置換された $C_1 \sim C_4$ アルキルとしては、ベンジ ル、2-クロロベンジル、3-ブロモベンジル、4-ク ロロベンジル、4-メチルベンジル、4-ターシャリー ブチルベンジル、1-フェニルエチル、1-(3-クロ ロフェニル) エチル、2-フェニルエチル、1-メチル -1-フェニルエチル、1-(4-クロロフェニル)-1-メチルエチル、1-(3-クロロフェニル)-1-メチルエチル、1-フェニルプロピル、2-フェニルプ ロピル、3-フェニルプロピル、1-フェニルブチル、 2-フェニルブチル、3-フェニルブチル、4-フェニ ルブチル、1-メチル-1-フェニルプロピル、1-メ チルー2-フェニルプロピル、1-メチル-3-フェニ ルプロピル、2-メチル-2-フェニルプロピル、2-(4-クロロフェニル)-2-メチループロピル、2-メチルー2-(3-メチルフェニル)プロピル等があげ られる。

【0105】 T^1 の定義における、 R^2 で置換された C_3 ~ C_6 シクロアルキルとしては、1-7ェニルシクロプロピル、1-(3-9)ロフェニル)シクロプロピル、1-(4-9)ロフェニル)シクロプロピル、1-(4-1)ロモフェニル)シクロプロピル、1-(4-1)ロテェニル)シクロプロピル、1-(4-1)ロフェニル)シクロプロピル、1-(4-1)ロピルフェニル)シクロプロピル、1-(4-1)ロピル、1-1ロピル、1-1ロピルンチル、1-1ロアロピル、1-1ロアロピル、1-1ロアロビル、1-1ロアロビル、1-1ロアニールシクロペンチル、1-10ロペンチル、1-10ロペンチル、1-10ロペンチル、1-11 1-11

 $(4-\rho \Box \Box z \Box u)$ シクロヘキシル、 $1-(4-\rho \Box z z z z u)$ シクロヘキシル、 $2- \Box z z z u$ シクロヘキシル、 $3- \Box z z z u$ シクロヘキシル、 $4- \Box z z z u$ シクロヘキシル等があげられる。

【0106】 T^1 の定義における、 R^a および $C_1 \sim C_4 P$ ルキルで置換されたシクロプロピルとしては、2、2ージメチルー1ーフェニルシクロプロピル、1ー(4ークロフェニル)ー2、2ージメチルシクロプロピル、3ー(3ークロフェニル)ー2、2ージメチルシクロプロピル、(4ークロロフェニル)ー2、2ージメチルー3ーフェニルシクロプロピル、(4ープロモフェニル)ー2、2ージメチルー3ーフェニルシクロプロピル、2、2ージメチルー3ー(4ーメチルフェニル)シクロプロピル、(4ーターシャリーブチルフェニル)ー2、2ージメチルー3ーフェニルシクロプロピル等があげられる。

 $\{0107\}$ T¹の定義における、R c およびハロゲン原子で置換されたC $_3$ ~C $_4$ シクロアルキルとしては、2 , 2 – ジクロロー1 – フェニルシクロプロピル、2 , 2 – ジクロロー1 – (3 – クロロフェニル)シクロプロピル、2 , 2 – ジクロロー1 – (4 – x トキシフェニル)シクロプロピル、2 , 2 – ジクロロー1 – (4 – x トキシフェニル)シクロプロピル、x , x –

【0108】 T^1 の定義における、Rcおよび $C_1 \sim C_4$ アルキルで置換されたシクロプロピルとしては、2, 2 - ジメチル-3 - (2, 2 - ジメチルエテニル) シクロプロピル、3 - (2, 2 - ジブロモエテニル) - 2, 2 - ジメチルシクロプロピル、3 - (2, 2 - ジクロロエテニル) - 2, 2 - ジメチルシクロプロピル、3 - (2, 2 -

【0109】 T^1 の定義における $C_1 \sim C_3$ のアルキルで置換されてもよい $C_3 \sim C_6$ シクロアルコキシとしては、シクロプロポキシ、シクロブトキシ、シクロペントキシ、シクロヘキシルオキシ、1-メチルシクロプロピキシ等があげられる。

【0110】 R^2 、 R^3 または T^1 の定義における、 R^a で 置換された $C_2 \sim C_4$ のアルケニルとしては、1-フェニルエテニル、2- (2-クロロフェニル)エテニル、2- (3-クロロフェニル)エテニル、2- (4-クロロフェニル)エテニル、2- (4-クロロフェニル)エテニル、2- (4-クロフェニル)エテニル、2- (4-000) エテニル、2-000 エテニル、2-100 エテニル、2-10 エテニル)エテニル、2-10 エテニル)エテニル、2-10 エテニル)エテニル、2-10 エテニル)エテニル、2-10 エテニル)エテニル

ル) エテニル、1-メチル-2-フェニルエテニル、2-フェニル-1-プロペニル、2-(4-ブロモフェニル) -1-プロペニル、2-(2, 4, 6-トリメチルフェニル) -1-プロペニル等があげられる。

 $\{0111\}G$, \mathbb{R}^3 , \mathbb{T}^1 , \mathbb{T}^2 , \mathbb{T}^3 , \mathbb{W} , \mathbb{X} , \mathbb{Y} at は乙の定義におけるアルコキシとしては、直鎖または分 岐鎖状のアルコキシとしてメトキシ、エトキシ、n-プ ロポキシ、イソプロポキシ、ローブトキシ、イソブトキ シ、secーブトキシ、tertーブトキシ、nーペン チルオキシ、1-メチルブチルオキシ、2-メチルブチ ルオキシ、3-メチルブチルオキシ、1,1-ジメチル プロポキシ、1,2-ジメチルプロポキシ、2,2-ジ メチルプロポキシ、1-エチルプロピルオキシ、n-へ キシルオキシ、1-メチルペンチルオキシ、2-メチル ペンチルオキシ、3-メチルペンチルオキシ、4-メチ ルペンチルオキシ、1,1-ジメチルブチルオキシ、 1,2-ジメチルブチルオキシ、1,3-ジメチルブチ ルオキシ、2, 2-ジメチルブチルオキシ、2, 3-ジ メチルブチルオキシ、3,3-ジメチルブチルオキシ 1-エチルブチルオキシ、2-エチルブチルオキシ、 1, 1, 2-トリメチルプロピルオキシ、1, 2, 2-トリメチルプロピルオキシ、1-エチル-1-メチルプ ロピルオキシ、1-エチル-2-メチルプロピルオキ シ、n-ヘプチルオキシ、n-オクチルオキシ、n-ノ ニルオキシ、ローデシルオキシなどがあげられ、各々の

ノ、1-エチルブチルアミノ、2-エチルブチルアミ ノ、1,1,2-トリメチルプロピルアミノ、1,2, 2-トリメチルプロピルアミノ、1-エチル-1-メチ ルプロピルアミノ、1-エチル-2-メチルプロピルア ミノ、ジメチルアミノ、ジエチルアミノ、ジーnープロ ピルアミノ、ジイソプロピルアミノ、ジーnーブチルア ミノ、ジーsecーブチルアミノ、ジイソブチルアミ ノ、ジーローペンチルアミノ、ジーローヘキシルアミ ノ、メチルエチルアミノ、メチルプロピルアミノ、メチ ルイソプロピルアミノ、メチルブチルアミノ、メチルー sec-ブチルアミノ、メチルイソブチルアミノ、メチ ルーtert-ブチルアミノ、メチルペンチルアミノ、 メチルヘキシルアミノ、エチルプロピルアミノ、エチル イソプロピルアミノ、エチルブチルアミノ、エチルーs ecーブチルアミノ、エチルイソブチルアミノ、エチル ペンチルアミノ、エチルヘキシルアミノ、フェニルアミ ノ、ベンジルアミノ、N-メチルアセトアミド、N-エ チルアセトアミド、N-フェニルアセトアミド、N-ア セチルアセトアミドなどがあげられ、各々の指定の炭素 数の範囲で選択される。

【0115】G、 R^3 、 T^1 、W、X、Y及VZO定義における C_1 $\sim C_4$ \wedge 1 \sim \sim 1 \sim 1

【0116】G、 R^3 、 T^2 、 T^3 、W、X、Y及び<math>Zの 定義における $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフェニルとしては、メチルチオ、エチルチオ、n-プロピルチオ、iso-プロピルチオ、n-ブチルチオ、iso-ブチルチオ、sec-ブチルチオ、tert-ブチルチオがあげられる。

【0117】G、 R^3 、X、W、Y及びZの定義におけ $C_1 \sim C_4$ アルキルスルフィニルとしては、メチルスルフィニル、エチルスルフィニル、 $n-\mathcal{T}$ ロピルスルフィニル、 $iso-\mathcal{T}$ ロピルスルフィニル、 $n-\mathcal{T}$ チルスルフィニル、 $iso-\mathcal{T}$ チルスルフィニル、 $sec-\mathcal{T}$ チルスルフィニル、 $tert-\mathcal{T}$ チルスルフィニルがあげられる。

【0119】 R^2 、 R^3 、W、 T^1 またはYの定義における $C_2 \sim C_4$ のアルコキシアルキルとしては、 $C_1 \sim C_3$ のアルコキシーメチル、 $C_1 \sim C_2$ のアルコキシーエチル、メトキシエトキシメチルおよびメトキシプロピルなどがあげられる。

【0120】G、 U^1 、 U^2 またはWの定義における C_2 $\sim C_4$ のアルキルカルボニルとしては、アセチル、プロピオニル、ブタノイル、iso- ブタノイルがあげられる。

【0121】Gの定義における $C_2 \sim C_6$ のハロアルキルカルボニルとしては、クロロアセチル、トリフルオロアセチル、3,3,3-トリフルオロプロピオニル、ペンタフルオロプロピオニル等があげられる。

【0122】Wの定義における $C_2 \sim C_5$ のハロアルキルカルボニルオキシとしては、クロロアセチルオキシ、トリフルオロアセチルオキシ、3,3,3-トリフルオロプロピオニルオキシ等があげられる。

【0123】Yの定義における $C_3 \sim C_7$ のジアルキルアミノカルボニルオキシとしては、ジメチルアミノカルボニルオキシ、ジエチルアミノカルボニルオキシ、ジーiープロピルアミノカルボニルオキシ等があげられる。

【0124】A、W及びT¹の定義におけるナフチルとしては1ーナフチル及び2ーナフチルがあげられる。

【0125】Wの定義におけるXで置換されていてもよいピリジルとしては、Xで置換されていてもよい2ーピリジル、Xで置換されていてもよい3ーピリジルまたはXで置換されていてもよい4ーピリジルがあげられ、好ましくはXで置換されていてもよい2ーピリジルであり、より好ましくはXで置換されていてもよい2ーピリジルである。

【0126】Wの定義におけるXで置換されていてもよいチエニルとしては、Xで置換されていてもよい2-チエニル及びXで置換されていてもよい3-チエニルがあげられる。

【 0 1 2 7 】 W、R I 及びYの定義における - N = C T?

T®はアルキリデンアミノ、ベンジリデンアミノ、アリーリデンアミノまたはシクロアルキリデンアミノを意味し、メチリデンアミノ、エチリデンアミノ、プロピリデンアミノ、イソプロピリデンアミノ、4-メチル-2-ペンチリデンアミノ、シクロペンチリデンアミノ、シクロヘキシリデンアミノ等があげられる。

【0128】 R^2 の定義における $C_1 \sim C_4$ のモノアルキルアミノスルホニルとしては、メチルアミノスルホニル、エチルアミノスルホニル、n-プロピルアミノスルホニル、イソプロピルアミノスルホニル及びn-ブチルアミノスルホニルなどがあげられる。

【0129】 R^2 の定義における $C_2 \sim C_8$ ジアルキルアミノスルホニルとしては、ジメチルアミノスルホニル、ジエチルアミノスルホニル、ジーn-プロピルアミノスルホニル、ジイソプロピルアミノスルホニル及びジーn-ブチルアミノスルホニルなどがあげられる。

【0130】 R^2 または R^3 の定義における、 R^5 で置換された $C_1 \sim C_4$ アルキルとしては、フェナシル、2-フルオロフェナシル、3-クロロフェナシル、4-ブロモフェナシル、2-メチルフェナシル、3-エチルフェナシル、4-i-プロピルフェナシル、4-t-ブチルフェナシル等があげられる。

【0131】 R^2 または R^3 の定義における、ハロゲン原子および $C_1 \sim C_4$ アルキルから選ばれる1種以上で置換されていてもよいフェニルスルホニルとしては、2-フルオロフェニルスルホニル、4-クロロフェニルスルホニル、4-クロロフェニルスルホニル、4-グロモフェニルスルホニル、2,5-ジクロロフェニルスルホニル、ペンタフルオロフェニルスルホニル、4-メチルフェニルスルホニル、2-メチルフェニルスルホニル、4-t-ブチルフェニルスルホニル、2,5-ジメチルフェニルスルホニル、2,4-6-トリメチルフェニルスルホニル、2,4,6-トリメチルフェニルスルホニル、2,4,6-トリアロピルフェニルスルホニル、3,4,6-トリアロピルフェニルスルホニルをがあげられる。

【0132】 R^2 または R^3 の定義における $C_2 \sim C_5$ シアノアルキルとしては、シアノメチル、2-シアノエチル、3-シアノプロピル、1-シアノ-1-メチルエチル等があげられる。

【0133】 R^2 または R^3 の定義における $C_3 \sim C_9 T$ ルコキシカルボニルアルキルとしては、直鎖または分岐状のアルコキシカルボニルアルキルとしてメトキシカルボニルメチル、n-プロボキシカルボニルメチル、i-プロボキシカルボニルメチル、i-プトキシカルボニルメチル、i-プトキシカルボニルメチル、n-个キシルオニンカルボニルメチル、n-个キシルオキシカルボニルメチル、n-个アチルオキシカルボニルメチル、1-メトキシカルボニルエチル、1-エトキシカルボニルエチル、2- エトキシカルボニルエチル、2- エトキシカルボニルエチル、2- エトキシカルボニルエチル、2- エトキシカルボニルエチル、2- エトキシカルボニルエチル、2- エトキシカルボニル

ルエチル、1-メトキシカルボニルプロピル、3-エトキシカルボニルプロピル、4-メトキシカルボニルブチル、6-エトキシカルボニルへキシル、1-メトキシカルボニル-1-メチルエチル、1-iso-プロポキシカルボニル-1-メチルエチル、1-エトキシカルボニル-2-メチルプロピル等があげられる。

【0134】R²の定義におけるアルカリ金属としては、リチウム、ナトリウム、カリウムがあげられる。

【0135】R²の定義におけるアルカリ土類金属としては、マグネシウム、カルシウム、ストロンチウムまたはバリウムがあげられ、好ましくはマグネシウム、カルシウムまたはバリウムがあげられる。

【0136】R²の定義におけるNHT⁴T⁶T⁶で示されるアンモニウムとしては、アンモニウム、モノメチルアンモニウム、ジメチルアンモニウム、トリエチルアンモニウム、ジエチルアンモニウム、トリエチルアンモニウム、ジイソプロピルアンモニウム、ジイソプロピルエチルアンモニウム、ヘキシルメチルアンモニウム、シクロヘキシルメチルアンモニウム、アリルメチルアンモニウム、ベンジルメチルアンモニウムまたは4-メチルシクロヘキシルエチルアンモニウムであるか、あるいはT⁴、T⁵及びT⁶のうちの2個がそれぞれが結合している窒素原子とともに酸素原子、窒素原子もしくは硫黄原子を含有してよい複素環式5員環、6員環、7員環または8員環アンモニウム等があげられる。

【0137】T⁴、T⁵またはT⁶の定義におけるT⁴、T . 5及びT⁶のうちの2個がそれぞれが結合している窒素原子とともに酸素原子、窒素原子もしくは硫黄原子を含有してよい複素環式5員環、6員環、7員環または8員環アンモニウムとしては、ピロリジン、ピラゾリジン、イミダゾリジン、オキサゾリジン、イソオキサゾリジン、チアゾリジン、ピペリジン、ピペラジン、モルホリン、チアモルホリン、ヘキサメチレンイミンがあげられる。

【0138】G、W、X、YまたはZの定義におけるハロアルキルスルフェニルとしては、直鎖状または分岐鎖状のハロアルキルチオとしてフルオロメチルチオ、クロロジフルオロメチルチオ、ブロモジフルオロメチルチオ、トリフルオロメチルチオ、トリクロロメチルチオ、2,2,2ートリフルオロエチルチオ、フルオロエチルチオ、ペンタフルオロエチルチオ及びフルオローisoープロピルチオなどがあげられる。

【0139】G、W、X、YまたはZの定義におけるハロアルキルスルフィニルとしては、直鎖状または分岐鎖状のハロアルキルスルフィニルとしてフルオロメチルスルフィニル、ブロモジフルオロメチルスルフィニル、トリフルオロメチルスルフィニル、トリクロロメチルスルフィニル、2,

2,2-トリフルオロエチルスルフィニル、1,1,2,2-テトラフルオロエチルスルフィニル、フルオロエチルスルフィニル、ペンタフルオロエチルスルフィニルなどがル及びフルオローiso-プロピルスルフィニルなどが

あげられる。

【0140】G、W、X、YまたはZの定義におけるハロアルキルスルホニルとしては、直鎖状または分岐鎖状のハロアルキルスルホニルとしてフルオロメチルスルホニル、クロロジフルオロメチルスルホニル、ブロモジフルオロメチルスルホニル、トリクロロメチルスルホニル、2,2,2ートリフルオロエチルスルホニル、1,1,2,2ーテトラフルオロエチルスルホニル、フルオロエチルスルホニル、ベンタフルオロエチルスルホニルをびフルオローisoープロピルスルホニルなどがあげられる。

【0141】 R^2 、 R^3 、GまたはWの定義におけるハロアルケニルとしては、 $C_2 \sim C_4$ の直鎖または分岐状のハロアルケニルとして2-クロロエテニル、2-ブロモエテニル、2,2-ジクロロエテニル等があげられる。

【0142】R³、G、T¹、WまたはYの定義におけるアルケニルオキシとしては、直鎖または分岐状のアルケニルオキシとしてアリルオキシ、2-プロペニルオキシ、2-ブテニルオキシ、2-メチル-2-プロペニルオキシ等があげられる。

【0143】 R^3 、G、WまたはYの定義におけるハロアルケニルオキシとしては、直鎖または分岐状のハロアルケニルオキシとして3-クロロ-2-プロペニルオキシ、3、3-ジクロロ-2-プロペニルオキシ、4-クロロ-2-プテニルオキシ、4、<math>4-ジクロロ-3-プテニルオキシ、4、4-ジフルオロ-3-プテニルオキシ、5等があげられる。

【0144】G、W、X、YまたはZの定義におけるアルケニルスルフェニルとしては、直鎖または分岐状のアルケニルスルフェニルとしてアリルスルフェニル、2-プロペニルスルフェニル、2-メチル-2-プロペニルスルフェニル等があげられる。

【 0 1 4 5 】 G、W、X、YまたはZの定義におけるアルケニルスルフィニルとしては、直鎖または分岐状のアルケニルスルフィニルとしてアリルスルフィニル、2 ープロペニルスルフィニル、2 ーメチルー2 ープロペニルスルフィニルをがあげられる。

【0146】G、W、X、YまたはZの定義におけるアルケニルスルホニルとしては、直鎖または分岐状のアルケニルスルホニルとしてアリルスルホニル、2ープロペニルスルホニル、2ーブテニルスホニル、2ーメチルー2ープロペニルスルホニル等があげられる。

【0147】G、WまたはYの定義におけるハロアルケニルスルフェニルとしては、直鎖または分岐状のハロア

ルケニルスルフェニルとして $3-\rho$ ロロ-2-プロペニルスルフェニル、 $4-\rho$ ロロ-2-ブテニルスルフェニル、3, 3-ジクロロ-2-プロペニルスルフェニル、4, 4-ジクロロ-3-ブテニルスルフェニル、4, 4-ジフルオロ-3-ブテニルスルフェニル等があげられる。

【0148】G、WまたはYの定義におけるハロアルケニルスルフィニルとしては、直鎖または分岐状のハロアルケニルスルフィニルとして3-クロロ-2-プロペニルスルフィニル、3、3-ジクロロ-2-プロペニルスルフィニル、4-クロロ-2-ブテニルスルフィニル、4・4-ジクロロ-3-ブテニルスルフィニル等があげられる。

【0149】G、WまたはYの定義におけるハロアルケニルスルホニルとしては、直鎖または分岐状のハロアルケニルスルホニルとして3-クロロ-2-プロペニルスルホニル、3、3-ジクロロ-2-プロペニルスルホニル、4-クロロ-2-ブテニルスルホニル、4、4-ジフルオロー3-ブテニルスルホニル、4、4-ジフルオロー3-ブテニルスルホニル等があげられる。

【0150】 R^2 、 R^3 、GまたはWの定義におけるハロアルキニルとしては、2ロロエチニル、ブロモエチニル、3-2ロロ-1-2ロピニル、3-20ロモ-1-22ロモ-1-22に、3-22ロモ-1-23に、32のでは、33ので

【0151】 R^3 、G、WまたはYの定義におけるアルキニルオキシとしては、2-プロピニルオキシ、2-ブチニルオキシ、1-メチル-2-プロピニルオキシ等があげられる。

【0152】 R^3 、G、WまたはYの定義におけるハロアルキニルオキシとしては、3-クロロ-2-プロピニルオキシ、3-ブロモ-2-プロピニルオキシ、3-ヨード-2-プロピニルオキシ等があげられる。

【 0 1 5 3 】 G、WまたはYの定義におけるアルキニルスルフェニルとしては、2 - プロピニルスルフェニル、2 - ブチニルスルフェニル、1 - メチル - 2 - プロピニルスルフェニル等があげられる。

【 0 1 5 4 】 G、WまたはYの定義におけるアルキニルスルフィニルとしては、2 ープロピニルスルフィニル、2 ーブチニルスルフィニル、1 ーメチルー2 ープロピニルスルフィニル等があげられる。

【0155】G、WまたはYの定義におけるアルキニルスルホニルとしては、2-プロピニルスルホニル、2-ブチニルスルホニル、1-メチルー2-プロピニルスルホニル等があげられる。

【0156】G、WまたはYの定義におけるハロアルキニルスルフェニルとしては、3-クロロー2-プロピニルスルフェニル、3-ブロモ-2-プロピニルスルフェニル等があげられる。

【0157】G、WまたはYの定義におけるハロアルキニルスルフィニルとしては、3-クロロ-2-プロピニルスルフィニル、3-ブロモ-2-プロピニルスルフィニル等があげられる。

【0158】G、WまたはYの定義におけるハロアルキニルスルホニルとしては、3-クロロ-2-プロピニルスルホニル、3-ブロモ-2-プロピニルスルホニル、3-ヨード-2-プロピニルスルホニル等があげられる。

【0159】G、WまたはYの定義におけるアルキルカルボニルオキシとしては、アセトキシ、プロパノイルオキシ、ブタノイルオキシ、イソプロピルカルボニルオキシ等があげられ、各々の指定の炭素数の範囲で選択される。

【0160】Gの定義におけるXで置換されていてもよいベンゾイルとしては、ベンゾイル、2-クロロベンゾイル、3-クロロベンゾイル、4-クロロベンゾイル、4-ブロモベンゾイル、4-ブルオロベンゾイル、3-メチルベンゾイル、4-メチルベンゾイル、4-ターシャリーブチルベンゾイル、3、4-ジクロロベンゾイル等があげられる。

【0161】本発明化合物は、農園芸作物および樹木などを加害するいわゆる農業害虫、家畜家禽類に寄生するいわゆる家畜害虫、家屋等の人間の生活環境で様々な悪影響を与えるいわゆる衛生害虫、倉庫に貯蔵された穀物等を加害するいわゆる貯穀害虫、および同様の場面で発生加害するダニ類、線虫類、軟体動物、甲殻類のいずれの害虫も低濃度で有効に防除できる。

【0162】本発明化合物を用いて防除しうる昆虫類、 ダニ類、線虫類、軟体動物及び甲殻類には具体的には次 に示すものがあるが、それらのみに限定されるものでは ない。

【0163】ニカメイガ、コブノメイガ、フタオビコヤ ガ、イチモンジセセリ、コナガ、ヨトウガ、モンシロチ ョウ、カブラヤガ、ハスモンヨトウ、シロイチモンジョ トウ、オオタバコガ、チャノコカクモンハマキ、チャハ マキ、モモシンクイ、ナシヒメシンクイ、リンゴコカク モンハマキ、キンモンホソガ、コットンボールワーム、 タバコバッドワーム、ヨーロピアンコーンボーラー、フ ォールアーミーワーム、コドリンガ及びアメリカシロヒ トリなどの鱗翅目害虫、ツマグロヨコバイ、トビイロウ ンカ、モモアカアブラムシ、ワタアブラムシ、オンシツ コナジラミ、シルバーリーフコナジラミ、ナシキジラ ミ、ツツジグンバイ、ヤノネカイガラムシ、クワコナカ イガラムシ、ルビーロウムシ、オオワラジカイガラム シ、クサギカメムシ、ナガメ及びナンキンムシなどの半 翅目害虫、ニジュウヤホシテントウ、ドウガネブイブ イ、マメコガネ、イネミズゾウムシ、シバオサゾウム シ、アリモドキゾウムシ、ウリハムシ、キスジノミハム

シ、コロラドハムシ、ゴマダラカミキリ、アオバアリガ タハネカクシ、マツノマダラカミキリ、カンシャコメツ キ、ヒメヒラタケシキスイ、コーンルートワーム、ココ クゾウ、グラナリーウィービル及びコクヌストモドキな どの鞘翅目害虫、マメハモグリバエ、タネバエ、ヘシア ンフライ、ウリミバエ、チチュウカイミバエ、イエバ エ、サシバエ、ヒツジシラミバエ、キスジウシバエ、ウ シバエ、ヒツジバエ、ツェッツェバエ、キアシオオブ ユ、ウシアブ、オオチョウバエ、トクナガクロヌカカ、-アカイエカ、ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ及びシナ ハマダラカなどの双翅目害虫、カブラハバチ、マツノキ ハバチ、クリハバチ、グンタイアリ、クロオオアリ、オ オスズメバチ、ブルドックアント、ファイヤーアント及 びファラオアントなどの膜翅目害虫、ミナミキイロアザ ミウマ、ネギアザミウマ、ミカンキイロアザミウマ、ヒ ラズハナアザミウマ及びチャノキイロアザミウマなどの 総翅目害虫、クロゴキブリ、ヤマトゴキブリ及びチャバ ネゴキブリなどの網翅目害虫、ケラ、エンマコオロギ、 トノサマバッタ、コバネイナゴ及びサバクワタリバッタ などの直翅目害虫、イエシロアリ、ヤマトシロアリ及び タイワンシロアリなどのシロアリ目害虫、ネコノミ、ヒ トノミ及びケオプスネズミノミなどの等翅目害虫、ニワ トリオオハジラミ及びウシハジラミなどのハジラミ目害 虫、ウシジラミ、ブタジラミ、ウシホソジラミ及びケブ カウシジラミなどのシラミ目害虫、ヤマトシミなどの総 尾目害虫、ヒラタチャタテなどの噛虫目害虫、ヤギシロ トビムシ及びシロトビムシなどの粘管目害虫、ミカンハ ダニ、リンゴハダニ、ナミハダニ及びカンザワハダニな どのハダニ類、ミカンサビダニ、ニセナシサビダニ、チャー ューリップサビダニ及びチャノナガサビダニなどのフシ ダニ類、チャノホコリダニ及びシクラメンホコリダニな どのホコリダニ類、ケナガコナダニ及びロビンネダニな どのコナダニ類、ミツバチヘギイタダニなどのハチダニ 類、オウシマダニ及びフタトゲチマダニなどのマダニ 類、ヒツジキュウセンダニなどのキュウセンダニ類、ヒ ゼンダニなどのヒゼンダニ類、トビズムカデ、アカズム カデ、オオゲジゲジなどの唇脚類、ヤケヤスデ、フジヤ スデなどの倍脚類、サツマイモネコブセンチュウ、キタ ネコブセンチュウ、キタネグサレセンチュウ、クルミネ グサレセンチュウ、ジャガイモシストセンチュウ及びマ ツノザイセンチュウなどの線虫類、スクミリンゴガイ、 ナメクジ、アフリカマイマイ、ウスカワマイマイ及びミ スジマイマイなどの軟体動物、オカダンゴムシなどの甲 殼類などがあげられる。

【0164】また、本発明化合物の防除対象となる植物病害としては、イネのいもち病(Pyricularia oryzae)、ごま葉枯病(Cochliobolus miyabeanus)、紋枯病(Rhizoctonia solani)、ムギ類のうどんこ病(Erysiphe graminis f.sp.h

ordei, f. sp. tritici)、斑葉病 (P yrenophoragraminea)、網別病(P yrenophora teres)、赤かび病(Gi bberella zeae)、さび病(Puccin ia striiformis, P. gramini s, P. recondita, P. hordei)、雪 腐病(Typhula sp., Micronectr iellanivais)、裸黒穂病(Ustilag o tritici, U. nuda), アイスポット (Pseudocercosporella herp otrichoides)、雲形病(Rhynchos porium secalis)、葉枯病(Septo — ria tritici)、ふ枯病(Leptosph aeria nodorum)、カンキツの黒点病(D iaporthe citri)、そうか病(Elsi noe fawcetti)、果実腐敗病(Penic illium digitatum, P. italic um)、リンゴのモニリア病 (Sclerotinia mali)、腐らん病(Valsamali)、うど んご病(Podosphaera leucotric ha)、斑点落葉病(Alternaria mal i)、黒星病(Venturiainaequali s)、ナシの黒星病(Venturia nashic ola)、黒斑病(Alternaria Kikuc hiana)、赤星病(Gymnosporangiu m haraeanum)、モモの灰星病(Scler otinia cinerea)、黒星病(Clado sporium carpophilum)、フォモプ シス腐敗病(Phomopsis sp.)、ブドウの「 べと病(Plasmopara viticola)、 黒とう病(Elsinoe ampelina)、晩腐 病(Glomerella cingulata)、う どんこ病(Uncinula necator)、さび 病(Phakopsora ampelopsidi s)、カキの炭そ病(Gloeosporium ka ki)、落葉病(Cercospora kaki, M ycosphaerella nawae)、ウリ類の べと病(Pseudoperenospora cub ensis)、炭そ病(Colletotrichum lagenarium)、うどんこ病(Sphaer otheca fuliginea)、つる枯病(My cosphaerella melonis)、トマト の疫病(Phytophthora infestan s)、輪紋病(Alternaria solan i)、葉かび病(Cladosporiumfulva m)、ナスの褐紋病 (Phomopsis vexan s)、うどんこ病(Erysiphe cichora coarum)、アブラナ科野菜の黒斑病(Alter naria japonica)、白斑病(Ceroc osporella brassicae)、ネギのさ

び病(Puccinia allii)、ダイズの紫斑 病(Cercospora kikuchii)、黒と う病(Elsinoe glycines)、黒点病 (Diaporthephaseololum)、イン ゲンの炭そ病 (Colletotrichumlind emuthianum)、ラッカセイの黒渋病(Myc osphaerella personatum)、褐 斑病(Cercospora arachidicol a)、エンドウのうどんこ病(Erysiphe pi si)、ジャガイモの夏疫病(Alternaria solani)、イチゴのうどんこ病(Sphaero theca humuli)、チャの網もち病(Exo basidium reticulatum)、白星病 (Elsinoe leucospila)、タバコの 赤星病(Alternaria longipes)、 うどんこ病(Erysiphe cichoracea rum)、炭そ病(Colletotrichum t abacum)、テンサイの褐斑病 (Cercospo ra beticola)、バラの黒星病(Diplo carpon rosae)、うどんこ病(Sphae rotheca pannosa)、キクの褐斑病(S eptoria chrysanthemiindic i)、白さび病(Puccinia horian a)、種々の作物の灰色かび病(Botrytis c inerea)、種々の作物の菌核病(Sclerot inia sclerotiorum)等が挙げられ る。

【0165】すなわち、、本発明化合物は直翅目、半翅目、鱗翅目、鞘翅目、膜翅目、双翅目、シロアリ目およびダニ・シラミ類の害虫や植物病害を低濃度で有効に防除できる。一方、本発明化合物はホ乳類、魚類、甲殻類および益虫に対してほとんど悪影響がない極めて有用な化合物を含む。

【0166】本発明化合物は次に示す方法(スキーム 1)によって合成することができる。スキーム1 【0167】 【化8】

【0168】 [(スキーム1) 中のQ及びAは前記と同じ意味を表し、 R^4 は水素原子または $C_1 \sim C_6$ のアルキルを表し、 R^5 は $C_1 \sim C_6$ のアルキルを表す。また、 R^4 と R^5 は一緒になって炭素数3~8の環を形成していてもよい。] すなわち、式(2)で表される化合物に、ヒドロキシルアミンもしくはその塩を作用させることにより、式(1)で表される化合物を得ることができる。 【0169】 反応に用いられるヒドロキシルアミンの塩としては、塩酸塩、硫酸塩、シュウ酸塩などを挙げることができる。また、所望により、p-トルエンスルホン

酸、硫酸、ルイス酸などの触媒を添加してもよい。

【0170】(スキーム1)で示した反応は、反応に不活性な溶媒中で行う事が出来、溶媒としてはメタノール、エタノール等の低級アルコール類、ベンゼン、トルエン等の芳香族炭化水素類、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、1、4ージオキサン、1、2ージメトキシエタン等のエーテル類、塩化メチレン、クロロホルム、1、2ージクロロエタン等のハロゲン化炭化水素類、ジメチルホルムアミド、ジメチルアセトアミド等のアミド類、アセトニトリル、ジメチルスルホキシドまたはこれらの混合溶媒等が挙げられる。反応温度は一30℃から200℃の任意の温度に設定する事が可能であり、0℃から150℃または溶媒を用いる場合には0℃から溶媒の沸点の範囲が好ましい。

【0171】本発明化合物は常法により反応液から得ることができるが、本発明化合物を精製する必要が生じた場合には再結晶、カラムクロマトグラフィー等の任意の精製法によって分離、精製することができる。

【0172】なお、本発明に包含される化合物の中で不 斉炭素を有する化合物の場合には、光学活性な化合物 (+)体および(-)体が含まれる。

【0173】(スキーム1)中の化合物(2)は、国際特許出願公報(WO99/02507号公報)に記載されている方法に準じて合成できる。

【0174】本発明に含まれる化合物の例を第1表から第2表に示す。尚、表中の略号はそれぞれ以下の意味を示す。

【0175】Me:メチル、Et:エチル、Pr:プロピル、Bu:ブチル、Pen:ペンチル、Hex:ヘキシル、Hep:ヘプチル、Oct:オクチル、Non:ノニル、Dec:デシル、Ph:フェニル、n:ノーマル、i:イソ、sec:セカンダリー、t:9ーシャリー、c:9つ口、

【0176】 【化9】

【0180】(第1表) 【0181】 【化13】

【0182】 【表1】

R	R1	G	Α	
R1	Н	Н	A1	
R1	H	Н	A2	
R1	Н	Н	A3	
R1	H	H	A4	
R1	Н	Н	A10	
R1	H	3-Me	A10	
R1	H	Н	A11	
R1	Н	Н	A12	
R1	H	Н	A24	
R1	Н	Н	A25	
R1	Н	H	A31	
R1	Н	Н	A32	
R1	H	H	A45	
R1	H	Н	A48	
R2	H	Н	A1	
R2	Н	Н	A2	
R2	H	Н	A3	
R2	H	Н	A4	
R2	Н	Н	A10	
R2	Н	Н	A11	
R2	Н	Н	A12	
₹2	Н	Н	A24	
22	H	Н	A25	
2	H	Н	A31	
2	Н	Н	A32	
2	Н	Н	A45	
2	Н	H	A48	
3	H	1-Me	A1	
3	H	1-Me	A2	
3	H	1-Me	A3	
3	Н	1-Me	A4	
}	Н	1-Me	A10	
3	Н	1-Me	A11	
}	Н	1-Me	A12	
;	H	1-Me	A24	
	H	1-Me	A25	
	Н	1-Me		

R3	Н	1-Me	A32
R3	н .	1-Me	A45
R3	Н	1-Me	A48
R4	Н	Н	A1
R4	Н	Н	A2
R4	H	H	A10
R4	Н	. Н	A25
R4	н	Н	A31
R4	Н	Н	A32
R4	Н	Н	A45
R4	Н	H	A48
R5	H	Н	A1
R5	н,	5-Me	A1
R5	Н	. Н	A2
R5	. Н	H	A10
R5	Н	Н	A25
R5	Н	Н	A31
R5	H ·	Н	A32
R5	Н	Н	A45
R5	Н	Н	A48
R6	Н	Н	A1
R6	Н	Н	A2
R6	Н	Н	A3
R6	н	H	A4
R6	Н	Н	A10
R6	H	Н	A11
R6	H	H	A12
R6	Н	Н	A24
R6	Н	Н	A25
R6	H	H	A31
R6	Н	H	A32
R6	H	Н	A45
R6	H	Н	A48
R7	Н	Н	A1
R7	Н	Н	A2
R7	Н	Н	A10
R7	H .	. Н	· A25
R7 .	. Н	. н :	A31
R7	H	H 	A32
R7	H	H	A45
R7	. Н	н .	A48
R8	H	Н	A1
R8 R8	H	H	A2
ris R8	H	H	A10
rs R8	H	H	A25
rio R8	H H	H	A31
R8	н	H H	A32
R8	H H	н Н	A45
R9	н.	Н	A48
11.7	п.	11	A1

R9	Н		
R9	Н	H	A2
R9	Н	n H	A10
R9	Н	Н	A25
R9	H	Н	A31
R9	., Н		A32
R9	H	H	A45
R10	Н	H	A48
R10	H	H	A1
R10	H	Н	A2
R10	Н	Н	A10
R10	н	H	A25
R10	H	H	A31
R10	,и Н	H	À32
R10	H	H	A45
R11	Н	H	A48
R11	Н	H	A1
R11	Н	H	A2
R11	H	H	A10
R11	H	H	A25
R11	Н	H	A31
R11	н	H	A32
R11	H	H	A45
R12	н	H H	A48
R12	Me	Н	Aī
R12	Н		A1
R12	C1	Н Н	A2
R12	Н		A2
R12	H	H	A3
R12	 Н	Н	A4
R12	Н	Н	A5
R12	н	n H	A6
R12	н	Н	A7
R12	н	Н	A8
R12	H	Н	A9
R12	Me	Н	A10
R12	CI	Н	A10
R12	CO₂Me	Н	A10
R12	NO ₂	Н	A10
R12	CN	Н	A10
R12	NMe ₂	Н	A10
R12	H H	л Н	A10
R12	н		A11
R12	н	H	A12
R12	H	H	A13
R12	H	H	A14
R12	H	Н	A15
R12	Н	H	A16
R12	H	H H	A17
R12	'' H	Н	A18
		п	A19

R12	H			400
R12	Н	H H		A20
R12	Н			A21
		H		A22
R12	H	H .		A23
R12	H	H		A24
R12	H	Н -		A25
R12	H	H		A26
R12	Н	Н		A27
R12	H	Н		A28
R12	Н	Н.		A29
R12	Н	Н		A30
R12	Н	н.		A31
R12	н	Н		A32
R12	Н	. Н		A33
R12	Н	Н ,		- A34
R12	Н	Н		A35
R12	Н	Н		A36
R12	Н	Н		A37
R12	H	Н		A38
R12	H	Н		A39
R12	H	Н		A40
R12	Н	Н		A41
R12	н	Н		A42
R12	Н	н		A43
R12	Н	H		A44
R12	Н	Н		A45
R12	Н	Н		A46
R12	Н	H		A47
R12	н	Н		A48
R12	Н	Н		A49
R12	Н	Н		A50
R12	H	н		A51
R12	Н	Н		A52
R12	Н	Н		A53
R12	Н	Н		A54
R12	Н	Н		A55
R12	H	Н		A56
R12	Н	Н		A57
R12	Н	H		A58
R12	Н	H		A59
R12 -	Н	Н		A60
R12	Н	н .		A61
R13	Н	Н	•	A1
R13	н	н		A2
R13	 H	H		A2 A10
R13	Н	Н		A10 A25
R13	H	H		
R13	Н	Н		A31
R13	n H	Н		A32
R13	n H			A45
V13	п	Н .	•	A48

R14	Н	Н	A1
R14	Н	H	A2
R14	H	Н	A10
R14	Н	Н	A25
R14	H	Н	A31
R14	н	Н	A32
R14	H .	Н	A45
R14	Н	Н	A48
R15	Н	Н	A1
R15	H	н	A2
R15	H	н	A10
R15	Н	Н	A25
R15	H	Н	A31
R15	Н	Н	A32
R15	Н	Н	A45
R15	H	Н	A48
R16	Н	Н	A1
R16	Н	5-C1	A1
R16	H	Н	A2
R16	Н	3,5-Me₂	A2
R16	Н	Н	A10
R16	Н	3-CF ₃	A10
R16	Н	4-NO ₂	A10
R16	H	4-CN	A10
R16	Н	4−CO ₂ Me	A10
R16	Н	3-COMe	A10
R16	Н	H	A25
R16	H	Н	A31
R16	H	Н	A32
R16	Н	H	A45
R16	Н	Н	A48
R17	Н	1-Me	A1
R17	Н	1-Me	A2
R17	H	1-Me	A10
R17	Н	1-Me	A25
R17	Н	1-Me	A31
R17	H	1-Me	A32
R17	H	1-Me	A45
R17	H	1-Me	A48
R18	H	1-Me	A1
R18	Н	H.	A2
R18	Н	1-Me	A2
R18	H	1-Me	A10
R18	H	1-Me	A25
R18	H	1-Me	A31
R18	H	1-Me	A32
R18	Н	1-Me	A45
R18	H	1-Me	A48
R19	H	Н	A1
R19	Н	1-Me	A1

R19	Н	1-Me	A2
R19	Н	H	A10
R19	H	1-Me	A10
R19	H	1-Et	A10
R19	H	1-CH=CH ₂	A10
R19	Н	1-CH ₂ CH=CH ₂	A10
R19	Н	1-CH ₂ CH=CCl ₂	A10
R19	Н	1-CH ₂ C≡CH	A10
R19	Н	Н	A25
R19	H	Н	A31
R19	Н	Н	A32
R19	Ħ	Н	A45
R19	H	Н .	A48
R20	H	1-Me	A1
R20	Н	1-Me	A2
R20	Н	1-Me	A10
R20	Н	1-Me	A25
R20	Н	1-Me	A31
R20	H	1-Me	A32
R20	Н	1-Me	A45
R20	H	1-Me	A48
R21	Н	1-Me	A1
R21	H	1-Me	A2
R21	Н	1-Me	A10
R21	H	1-Me	. A25
R21	Н	1-Me	A31
R21	Н	1-Me	A32
R21	. Н	1-Me	A45
R21	Н	1-Me	A48
R22	H	Н	A1
R22	Н	2-Me	A1
R22	H	H	A2
R22	H	Н .	A10
R22	H	2-Me	A10
R22	Н	2-Me	A25
R22	Н	2-Me	A31
R22	Н	2-Me	A32
R22	Н	2-Me	_ A45
R22	Н	2-Me	A48
R23	H	Н	A1
R23	H	3-Me	A1
R23	Н	3-Me	A2
R23	Н	3-Me	A10
R23	. Н	3-Me	A25
323	H	3-Me	A31
23	H T	3-Me	A32
23	H .	3-Me	A45
23	Н.	3-Me	A48
24	H	5-Me	A1
24	H	5-Me	A2

R24	H	Н	A10
R24	Н	5-Me	A10
R24	H	5-Me	A25
R24	H	5-Me	A31
R24	Н	5-Me	A32
R24	Н	5-Me	A45
R24	Н	5-Me	A48
R25	Н	2-Me	A1
R25	H	Н	A2
R25	Н	2-Me	A2
R25	Н	Н	A10
R25	Н	2-Me	A10
R25	Н	2-Me	A25
R25	H	2-Me	A31
R25	Н	2-Me	A32
R25	H	2-Me	A45
R25	Н	2-Me	A48
R26	Н	3-Me	A1
R26	Н	3-Me	A2
R26	H	Н	A10
R26	Н	3-Me	A10
R26	H	3-Me	A25
R26	Н	3-Me	A31
R26	Н	3-Me	A32
R26	H	3-Me	A45
R26	Н	3-Me	A48
R27	Н	5-Me	A1
R27	Н	5-Me	A2
R27	Н	Н	A10
R27	H	5-Me	A10
R27	Н	5-Me	A25
R27	Н	5-Me	A31
R27	Н	5-Me	A32
R27	Н	5-Me	A45
R27	H	5-Me	A48
R28	Н	1-Me	A1
R28	Ħ	1-Me	A2
R28	Н	1-Me	A10
R28	H	1-Me	A25
R28	H	1-Me	A31
R28	H	1-Me	A32
R28	Н	1-Me	A45
R28	H	1-Me	A48
R28	H	2-Me	A1
R28	H	2-Me	A2
R28	Н .	2-Me	A10
R28	Н	2-Me	A25
R28	Н	2-Me	A31
R28	Н	2-Me	A32
R28	H	2-Me	A45

R28	Н	2-Me	A48
R28	Н	4-Me	A1
R28	Н	4-Me	A2
R28	Н	4-Me	A10
R28	H	4-Me	A25
R28	Н	4-Me	A31
R28	Н	4-Me	A32
R28	Н	4-Me	A45
R28	H	4-Me	A48
R29	Н	4-Me.	A1
R29	Н	Н	A2
R29	H	4-Me.	A2
R29	H	н	A10
R29	Н	4-Me	A10
R29	Н	Н	A25
R29	Н	Н	A31
R29	Н	H.	A32
R29	H	Н	A45
R29	Н	Н	A48
R30	Н	Н	A1
R30	H	Н	A2
R30	H	Н	A10
R30	Н	5-Me	· A10
R30	Н	Н	A25
R30	Н	Н	A31
R30	H	Н	A32
R30	Н	Н	A45
R30	Н	Н	A48
R31	Н	1-Me	A1
R31	H	1-Me	A2
R31	Н .	1-Me	A10
R31	Н	2-Me	A10
R31	H	1-Me	A25
R31	Н	2-Me	A25
R31	Н	1-Me	A31
R31	Н	1-Me	A32
R31	Н .	1-Me	A45
R31	Н	1-Me	A48
R32	H	1-Me	A1
R32	Н	1-Me	A2
R32	Н	1-Me	A10
R32	Н	1-Me	A25
R32	H	1-Me	A31
R32	Н	1-Me	A32
R32	Н	1-Me	A45
R32	H	1-Me	A48
R33	H	Н	A1
R33	Cl	 H	A1
R33	Н	 H	A2
R33	Cl	H	A2
			· · -

R33	н	f i	
R33		Н	A3
R33		Н	A4
R33	n H	Н	A5
R33	Н	H	A6
R33	Н	н	A7
R33		Н	A8
R33	H	н 	A9
R33	H	Н	A10
R33	Me	Н	A10
R33	CI	н	A10
R33	H	н	A11
R33	H	H 	A12
R33	H	Н	7A13
	H	H 	A14
R33 R33	H	Н	A15
	H	Н	A16
R33 R33	H	Н 	A17
R33	Н	H	A18
R33	H	Н	A19
R33	H	Н	A20
R33	H	Н	A21
R33		H	A22
R33	H	Н	A23
R33	Н	H 	A24
R33	H	н	A25
R33	H	Н	A26
R33	H	Н	A27
R33	H	Н	A28
R33	H	Н	A29
R33	n H	Н	A30
R33	n H	Н	A31
R33		н.	A32
R33	H	Н	A33
R33		H	A34
R33	H H	H	A35
R33	H	H	A36
R33	Н	H	A37
R33	H	Н	A38
R33	. Н	H	A39
R33		H	A40
R33	H	H	A41
R33	n H	Н	A42
R33		Н	A43
R33	H	Н	A44
R33	H	Н	A45
R33	C1	н	A45
R33	H	Н	A46
R33	H	H	A47
	H	H	A48
R33	CI	Н	A48

R33	H	. Н	A49
R33	H	H	A50
R33	H	H	A51
R33	H	Н	A52
R33	. Н	н	A53
R33	H	Н	A54
R33	H	Н	A55
R33	Н	Н	A56
R33	Н	н.	A57
R33	H	Н	· A58
R33	Н	Н	A59
R33	Н	H _ ,	A60
R33	Н.	Н - :	A61
R34	Н	Н	A1
R34	. Н	Н	. A2
R34	H	Н	A10
R34	Н	Н	A25
R34	Н	Н	. A31
R34	H	Н	A32
R34	H	Н	A45
R34	H	Н	A48
R35	H	Н	A1
R35	Н	Н	A2
R35	H	Н	A10
R35	H	Н	A25
R35	Н	Н	A31
R35	H	Н	A32
R35	H	Н	A45
R35	Ħ	Н .	A48
R36	Н	. Н	A1
R36	Me	Н	- A1
R36	C1	Н	A1
R36	Н.	3- M e	A1
R36	Cl	3-Me	A1
R36	Н	Н.	A2
R36	Н	3-Me	A2
R36:	Н	3-Et	A2
R36 .	Me	Н	A2
R36	Cl	Н	A2
R36 .	Н	Н	A3
R36	Н	н .	A4
R36	Н	Н	A5
R36	Н	H	A6
R36	Н	Н	A7
R36	Н	Н	A8
R36	н	. н	A9
R36	H	н	A10
R36	Н	 3-Me	A10
R36	H H	3-Et	A10
R36	 Me	Н	A10
		11	MIO

R36	CI	Н	410
R36	CO ₂ Me	Н	A10 A10
R36	Н	н	A11
R36	Н	Н	A12
R36	H	н	A13
R36	Н	 H	A14
R36	Н	н	A15
R36	Н.	Н	A16
R36	Н	н	A17
R36	Н	н	A18
R36	H	 Н	A19
R36	H	Н	A20
R36	H	н ,,	A21
R36	Н	 H	A22
R36	Н	 H	A23
R36	Н	н	A24
R36	Н	3-Me	A24 A24
R36	H	3-Et	A24 A24
R36	CI	Н	A24 A24
R36	H	Н	A25
R36	Н	 3-Ме	A25 A25
R36	Н	3-Et	A25
R36	Cl	H	A25
R36	Н	 Н	A26
R36	11	н	A27
R36	H	Н	A28
R36	 H	Н	A29
R36	H	H	A30
R36	Н	н	A31
R36	Н	 3-Me	A32
R36	Н	Н	A32
R36	Н	Н	A33
R36	Н	H	A34
R36	Н	Н	A35
R36	н	Н	A36
R36	H	Н	A37
R36	: H	 H	A37 A38
R36	H	н .	A39
R36	H	н	A40
R36	H	н	A41
R36	н	н .	A42
R36	Н	Н	A43
R36	 H	Н	A44
R36	Н	 H	
R36	н	3-Me	A45
R36	 Cl	H	A45
R36	Н	Н	A45
R36	H	Н	A46
R36	H H	H	A47
R36	., Н	л 3-Ме	A48
		J FIC	A48

R36	CI	Н	A48
R36	H	. Н	A49
R36	Н.	Н	A50
R36	H	н .	A51
R36	Н	Н	A52
R36	H	Н	. A53
R36	Н	Н.	A54
R36	Н	H	- A55
R36	Н	н	A56
R36	Н	Н	A57
R36	H	Н	A58
R36	H	H L	A59
R36	Н	Н	A60
R36	н -	Н	A61
R37	Н	Н	A1
R37	Н	H	A2
R37	H	Н	A10
R37	Н	Н	A25
R37	Н	Н	A31
R37	Н	н	A32
R37	Н	H	A45
R37	Н	Н	A48
R38	Н	Н	A1
R38	Н	Н	A2
R38	Н	Н	A10
R38	H	Н	A25
R38	Н	Н	A31
R38	Н	H	A32
R38	Н	H	A45
R38	H	H	A48
R39	Н	Н	A1
R39	Н	Н	A2
R39	H	Н	A10
R39	H	Н	A25
R39	Н	Н	A31
R39	Н	Н	A32
R39	H	Н	. A45
R39	Н .	Н	A48
R40	Н	Ή	A1
R40	Н	Н	A2
R40	Н	H	A10
R40	Н	H	A25
R40	H	Н	A31
R40	H	H	A32
R40	Н	Н	A45
R40	Н	. Н	A48
R41	Н	н	A1
R41	H	Н	A2
R41	H	Н	A10
R41	H	Н	A25

R41	Н	H	A31	
R41	Н	H	A32	
R41	Н	H	A45	
R41	Н	H	A48	
R42	Н	Н	A1	
R42	Н	Н	A2	
R42	Н	Н	A10	
R42	Н	Н	A25	
R42	Н	Н	A31	
R42	Н	Н	A32	
R42	Н	Н	A45	
R42	Н	Н	A48	

(第2表)【0183】【化14】

【0184】 【表2】

R	R ¹	R ²	K3	A	
R43	Н	Н	H	A1	
R43	Н	Me	H	A1	
R43	Н	Me	Me	A1	
R43	Cł	Me	Me	A1	
R43	Н	Me	Et	A1	
R43	Н	Me	nPr	A1	
R43	Н	Me	cPr	A1	
R43 :	H	Me	CF ₃	A1 -	
R43	Н	Me	Ph	A1	
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A1	
R43 .	Н -	Et	Me	A1	
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A1	
R43	Н	$CH_2C \equiv CH$	Me	A1	
R43	H	$CH_2 CH_2 CH_2 F$	Me	A1	
R43	Н	CH ₂ CH=CC1 ₂	Me	A1	
R43	H	cPr	Me	A1	
R43	Н	CH₂Pħ	Me	A1	
R43	Н	Ph	Me	A1	
R43	H	SO_2CF_3	Me	A1	
R43	Н	COMe	Me	A1	
R43	Н	COtBu	Me	A1	

R43	H	Н	н	A2
. R43	Н	Me	H	A2
R43	Н	Me	Me	A2
R43	CI	Me	Me	A2
R43	Н	Me	Et	A2
R43	Н	Me	nPr	A2
R43	Н	Me	cPr	A2
R43	Н	Me	CF ₃	A2
R43	Н	Me	Ph	A2
R43	H	Me	CO₂Me	A2
R43	Н	Et	Me	A2
. R43	H	CH2 CH=CH2	Me	A2
R43	Н	CH ₂ C≡CH	Me	A2-
R43	Н	CH2 CH2 CH2 F		A2
R43	Н	CH ₂ CH=CCI ₂	Me	A2
R43	Н	cPr	Me	A2
R43	Н	CH₂Ph	Me	A2
R43	H	Ph	Me	A2
R43	Н	SO_2CF_3	Me	A2
R43	Н	COMe	Me	A2
R43	Н	COtBu	Me	A2
R43	H	Me	Me	A3
R43	H	Me	Et	A3
R43	Н	Me	CO₂Me	A3
R43	Н	Et	Me	A3
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A3
R43	H	COMe	Me	A3
R43	Н	COtBu	Me	A3
R43	Н	Me	Me	A4
R43	Н	Me	Et	A4
R43	H	Me	Ω_2 Me	A4
·R43	Н	Et	Me	A4
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A4
R43	Н	COMe	Me	A4
R43	H	COtBu	Me	A4
R43	Н	Me	Me	A5
R43	Н	Et	Me	A5
. R43	Н	Me .	CO ₂ Me	. A5
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A5
R43	Н.	Me	Me	A6
R43	H	Et	Me	A6
R43	Н	. Me	∞₂Me	A6
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A6
R43	H	Me	Me	A7
R43	H	Et	Me	A7
R43	H	Me	$\Omega_2 Me$	A7
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A7
R43	Н	Me	Me	A8
R43	Н.	Et	Me .	A8
R43	H	Me	CO₂Me	. A8

R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A8
R43	Н	Me	Me	A9
R43	H	Et	Me	A9
R43	H	Me	CO₂ Me	A9
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A9
R43	н	Н	Н	A10
R43	Н	Me	H	A10
R43	Н	Me	Me	A10
R43	Me	Me	Me	A10
R43	Cl	Me	Me	A10
R43	CO₂Me	Me	Me	A10
R43	NO ₂	Me	Me	A10
R43	CN	Me	Me	A10
R43	NMe ₂	Me	Me	A10
R43	Н	Me	Et	A10
R43	Н	Me	nPr	A10
R43	Н	Me	cPr	A10
R43	Н	Me	CF ₃	A10
R43	Н	Me	Ph	A10
R43	H	Me	CO ₂ Me	A10
R43	Н	Et	Me	A10
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A10
R43	Н	CH ₂ C≡CH	Me	A10
R43	H	CH ₂ CH ₂ CH ₂ F	Me	A10
R43	Н	CH ₂ CH=CCl ₂	Me	A10
R43	Н	cPr	Me	A10
R43	Н	CH₂Ph	Me	A10
R43	Н	Ph	Me	A10
R43	Н	SO_2CF_3	Me	A10
R43	H	COMe	Me	A10
R43	Н	COtBu	Me	A10
R43	Н	Me	Me	A11
R43	H	Me	Et	A11
R43	H	Me	CO_2 Me	A11
R43	Н	Et	Me	A11
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A11
R43	Н	COMe	Me	A11
R43	Н	COtBu	Me	A11
R43	Н	Me	Me	A12
R43	Н .	Me	Et	A12
R43	H	Me	Ω₂Me	A12
R43	Н	Et	Me	A12
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A12
R43	Н	COMe	Me	A12
R43	Н	COtBu	Me	A12
R43	H	Me	Me	A13
R43	Н	Et	Me	A13
R43	H	Me	CO₂Me	A13
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A13
R43	H	Me	Me	A14

R43	H	Et	Me	A14
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A14
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A14
R43	Н	Me	Me	A15
R43	Н	Et	Me	A15
R43	Н	Me	CO₂Me	A15
R43	H	CH2 CH=CH2	Me	A15
R43	Н	Me	Me	A16
R43	H	Et .	Me	A16
R43	Н	Me	CO₂Me	A16
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A16
R43	Н	Me .	Me	A17
R43 .	H	Et	Me	A17
R43	Н	Me	. O0₂Me	A17
R43	. Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A17
R43	Н	Me	Me	A18
R43	. Н	Et	Me	A18
R43	Н	Ме	CO₂Me	A18
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A18
R43	Н	Me	Me	A19
R43	Н	Et	Me	A19
R43	Н	Me	CO₂Me	A19
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A19
R43	Н	Me	Me	A20
R43	Н	Et	Me	A20
R43	H	Me	CO₂Me	A20
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	· A20
R43	Н	Me	Me	A21
R43	Н	Et	Me	A21
R43	H	Me	CO₂Me	A21
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A21
R43	Н	Me	Me	A22
R43	Н	Et	Me	A22
R43	Н	Me	CO₂Me	A22
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A22
R43	H	Me	Me	. A23
R43	H	Et	Me ·	A23
R43	Н	Me	CO₂Me	A23
R43	• н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A23
R43	Н.,	Me	Me	A24
R43	Н	Me	Et	. A24
R43	Н	Me	CO₂Me	A24
R43	Н	Et	Me	A24
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A24
R43	H	COMe	Me	A24
R43	н	COtBu	Me	A24 A24
R43	н	Н	H	A25
R43	 H	Me	Н	A25
R43	Н	Me	Me	A25
R43	 H	Me	Et	A25 A25
	••	, , ,		H20

R43	Н	Me	nPr	A25
R43	Н	Me	cPr	A25
R43	H	Me	CF ₃	A25
R43	H	Me	Ph	A25
R43	Н	Me	ω_{2} Me	A25
R43	H	Et	Me	A25
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A25
R43	H	$CH_2C\equiv CH$	Me	A25
R43	Н	CH2 CH2 CH2 F	Me	A25
R43	Н	CH ₂ CH=CCI ₂	Me	A25
R43	Н	cPr	Me	A25
R43	Н	CH₂Ph	Me	A25
R43	Н	Ph	Me	A25
R43	H	SO_2CF_3	Me	A25
R43	Н	COMe	Me	A25
R43	Н	COtBu	Me	A25
R43	Н	Me	Me	A26
R43	Н	Et	Me	A26
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A26
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A26
R43	H	Me	Me	A27
R43	H	Et	Me	A27
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A27
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A27
R43	H	Me	Me	A28
R43	Н	Et	Me	A28
R43	Н	Me	ω_{2} Me	A28
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A28
R43	Н	Me	Me	A29
R43	H	Et	Me	A29
R43	H	Me	Ω₂Me	A29
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A29
R43	H	Me	Me	A30
R43	H	Et	Me	A30
R43	Н	Me	ω_2 Me	A30
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A30
R43	H 	Н	H	A31
R43	H	Me	Н	A31
R43	H	Me	Me	A31
R43	H .	Me	Et	A31
R43	Н	Me	nPr	A31
R43	H	Me	cPr	A31
R43	H	Me	CF ₃	A31
143	H	Me	Ph co. v	A31
143	H	Me	Ω₂Me	A31
43	H	Et Cu cu-cu	Me M-	A31
43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A31
43	H	CH ₂ C≡ CH	Me Ma	A31
43 42	H	CH ₂ CH ₂ CH ₂ F	Me	A31
43	Н	CH ₂ CH=CC1 ₂	Me	A31

R43	Н	cPr	Me	A31
R43	H	CH ₂ Ph	Me	A31
R43	H	Ph	Me	A31
R43	H	SO ₂ CF ₃	Me	A31
R43	Н	COMe	Me	A31
R43	Н	COtBu	Me	A31
R43	H	Н	Н	A32
R43	H	Me	Н	A32
R43	H	Me · ·	Me	A32
R43	Н	Me	Et	A32
R43	Н	Me	nPr	A32
R43.	H	Me	cPr	A32 .
R43	H	Me	CF ₃	A32
R43	Н.	Me	Ph	A32
R43	Н	Me	CO₂Me	A32
R43	H	Et	Me	A32
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A32
- R43	H	$CH_2C\equiv CH$	Me	A32
R43	H	CH ₂ CH ₂ CH ₂ F	Me	A32
R43	Н	CH ₂ CH=CC1 ₂	Me	A32
R43	H	cPr	Me	A32
R43	Н	CH₂Ph	Me	A32
R43	Н	Ph	Me	A32
R43	Н	SO_2CF_3	Me	A32
R43	H ·	COMe	Me	A32
R43	Н	COtBu	Me	A32
R43	Н	Me	Me	A33
R43	Н	Et	Me	A33
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A33
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A33
R43	Н	Me	Me	A34
R43	H	Et	Me	A34
R43	H	Me	∞ ₂ Me	A34
R43	H	CH_2 $CH=CH_2$	Me	A34
R43	Н	Me	Me	A35
R43	. Н	Et	Me	A35
R43	H :	Me	Ω_2 Me	A35
R43	. : Н	CH ₂ CH=CH ₂ ·	Me	A35
R43	Н	Me	Me	A36
R43	Н.	Et	Me	A36
R43	Н	Me	CO_2 Me	A36
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me .	A36
R43	H	Me	Me	A37
₹43	Н	Et	Me	A37
R43	H	Me	Ω₂Me .	A37
143	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A37
43	H	Me	Me	A38 .
43	H	Et	Me	A38
43	H	Me	Ω_2 Me	A38
43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A38

R43	н	v		
R43	Н	Me	Me	A39
R43	Н	Et Me	Me ~~ v	A39
R43	н		Ω ₂ Me	A39
R43	н	CH ₂ CH=CH	-	A39
R43	'' H	Me	Me	A40
R43	'' H	Et M-	Me ~~ u	A40
R43	Н	Me CU CU CU	Ω ₂ Me	A40
R43	'' H	CH ₂ CH=CH ₂		A40
R43	Н	Me Ma	Me	A41
R43	н	Me	Et	A41
R43	и Н	Me	Ω₂Me	A41
R43	Н	Et cu cu	Me	A41
R43	# H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A41
R43	 H	COMe CO+D	Me	A41
R43	н	COtBu	Me	A41
R43	., H	Me Ma	Me	A42
R43	'' H	Me Ma	Et	A42
R43	н	Me Et	CO₂ Me	A42
R43	H		Me	A42
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A42
R43	Н	COMe COtBu	Me Ma	A42
R43	н.	Ме	Me	A42
R43	H	ме Ме	Me C+	A43
R43	н	ме	Et	A43
R43	H	ne Et	∞ ₂ Me	A43
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me Ma	A43
R43	Н	cn₂cn=cn₂ COMe	Me	A43
R43	H	COtBu	Me	A43
R43	H	Ме	Me Ma	A43
R43	H	Me	Me	A44
R43	Н	Me Me	Et	A44
R43	., Н	Et	Ω₂Me	A44
R43	Н		Me u.	A44
R43	н.	CH ₂ CH=CH ₂ COMe	Me	A44
R43	H		Me	A44
R43	н	COtBu H	Me	A44
R43	H	Ме	H-	A45
R43	н	Me	H M-	A45
R43	 Me	Me	Me Ma	A45
R43	Cl	Me	Me _. Me	A45
R43	H	Me		A45
R43	Н	Me	Et	A45
R43	н	Me	nPr	A45
R43	'' H	ме Ме	cPr	A45
R43	Н	ме Ме	CF ₃	A45
R43	., Н	me Me	Ph wa	A45
R43	H	Et	Ω₂Me Mo	A45
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me Mo	A45
R43	н	$CH_2 CH = CH_2$	Me Ma	A45
		ong c — on	Me	A45

R43	Н	CH2 CH2 CH2 F	Me	A45
R43	H	CH ₂ CH=CC1 ₂	Me	A45
R43	11	cPr	Me	A45
R43	Н	CH₂Pħ	Me	A45
R43	Н	Ph	Me	A45
R43	Н	SO_2CF_3	Me	A45
R43	H	COMe	Me	A45
R43	H	COtBu	Me	A45
R43	H	Me	Me	A46
R43	H	Et	Me	A46
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A46
R43 .	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	. A46
R43	Н	Me	Me	A47
R43	Н	Et	Me	A47
R43	H	Me	CO₂Me	A47
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A47
R43	Н	Н	H	A48
R43	Н	Me	H	A48
R43	Н	Me	Me	A48
R43	Me	Me	Me	A48
R43	C1	Me	Me	A48
R43	H	Me	Et	· A48
R43	H	Me	nPr	A48
R43	Н	Me	cPr	A48
R43	Н	Me	CF ₃	A48
R43	Н	Me	Ph	A48
R43	. Н	Me	Ω_2 Me	A48
R43	Н	Et	Me	A48
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A48
R43	Н	$CH_2C \equiv CH$	Me	A48
R43	Н	CH ₂ CH ₂ CH ₂ F	Me	A48
R43	Н	CH ₂ CH=CC1 ₂	Me	. A48
R43	H 	cPr	Me	A48
R43	H	CH ₂ Ph	Me	A48
R43	Н	Ph	Me	A48
R43	Н	SO ₂ CF ₃	Me	A48
R43	H	COMe	Me .	A48
R43	H	COtBu	Me	A48
R43	H	Me	Me	A49 .
R43	H .	Et	Me	A49
Ř43	H	Me	Ω₂ Me	A49
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A49
R43	Н	Me	Me	A50
R43	H	Et .	Me	A50
R43	H 	Me	Ω_2 Me	A50
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me 	A50
143	H	Me	Me 	A51
143	H	Et	Me	A51
43	H	Me	Ω₂Me 	A51
43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A51

D43	.,			
R43	Н	Me	Me 	A52
R43	H	Et	Me	A52
R43	H	Me	Ω_2 Me	A52
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A52
R43	H 	Me	Me	A53
R43	H	Et	Me	A53
R43	Н	Me	CO_2 Me	A53
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A53
R43	H	Me	Me	A54
R43	H	Et	Me	A54
R43	Н	Me	CO_2 Me	A54
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A54
R43	Н	Me	Me	A55
R43	Н	Et	Me	A55
R43	Н	Me	$\Omega_2 Me$	A55
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A55
R43	H	Me	Me	A56
R43	Н	Et	Me	A56
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A56
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A56
R43	H	Me	Me	A57
R43	Н	Et	Me	A57
R43	Н	Me	Ω₂Me	A57
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A57
R43	Н	Me	Me	A58
R43	Н	Et	Me	A58
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A58
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A58
R43	Н	Me	Me	A59
R43	Н	Et	Me	A59
R43	Н	Me	Ω_2 Me	A59
R43	H	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A59
R43	Н	Me	Me	A60
R43	Н	Et	Me	A60
R43	Н	Me	CO₂ Me	A60
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me	A60
R43	Н	Me	Me	A61
R43	Н	Et	Me	A61
R43	H	Me	Ω₂Me	
R43	Н	CH ₂ CH=CH ₂	Me Me	A61
			ric	A61

本発明化合物を施用するにあたっては、通常適当な固体担体又は液体担体と混合し、更に所望により界面活性剤、浸透剤、展着剤、増粘剤、凍結防止剤、結合剤、固結防止剤、崩壊剤および分解防止剤等を添加して、液剤(soluble concentrate)、乳剤(emulsifiable concentrate)、水和剤(wettable powder)、水溶剤(water soluble powder)、顆粒水和剤(water dispersible granule)、顆粒水溶剤(water soluble granule)、懸濁剤(suspension concentrate)、乳濁剤(emaulsion, o

il in water)、サスポエマルジョン (suspoemulsio n)、マイクロエマルジョン (microemulsion)、粉剤 (dustable powder)、粒剤 (granule) およびゲル剤 (gel) 等任意の剤型の製剤にて実用に供することができる。また、省力化および安全性向上の観点から、上記任意の剤型の製剤を水溶性包装体に封入して供することもできる。

^{【0185】}固体担体としては、例えば石英、カオリナイト、パイロフィライト、セリサイト、タルク、ベント

ナイト、酸性白土、アタパルジャイト、ゼオライトおよび珪藻土等の天然鉱物質類、炭酸カルシウム、硫酸アンモニウム、硫酸ナトリウムおよび塩化カリウム等の無機 塩類、合成珪酸ならびに合成珪酸塩が挙げられる。

【0186】液体担体としては、例えばエチレングリコール、プロピレングリコールおよびイソプロパノール等のアルコール類、キシレン、アルキルベンゼンおよびアルキルナフタレン等の芳香族炭化水素類、ブチルセロソルブ等のエーテル類、シクロヘキサノン等のケトン類、アーブチロラクトン等のエステル類、Nーメチルピロリドン、Nーオクチルピロリドン等の酸アミド類、大豆油、ナタネ油、綿実油およびヒマシ油等の植物油ならびに水が挙げられる。

【0187】これら固体および液体担体は、単独で用いても2種以上を併用してもよい。

【0188】界面活性剤としては、例えばポリオキシエ チレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキル アリールエーテル、ポリオキシエチレンスチリルフェニ ルエーテル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレン ブロックコポリマー、ポリオキシエチレン脂肪酸エステ ル、ソルビタン脂肪酸エステルおよびポリオキシエチレ ンソルビタン脂肪酸エステル等のノニオン性界面活性 剤、アルキル硫酸塩、アルキルベンゼンスルホン酸塩、 リグニンスルホン酸塩、アルキルスルホコハク酸塩、ナ フタレンスルホン酸塩、アルキルナフタレンスルホン酸 塩、ナフタレンスルホン酸のホルマリン縮合物の塩、ア ルキルナフタレンスルホン酸のホルマリン縮合物の塩、 ポリオキシエチレンアルキルアリールエーテル硫酸およ び燐酸塩、ポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテ ル硫酸および燐酸塩、ポリカルボン酸塩およびポリスチ レンスルホン酸塩等のアニオン性界面活性剤、アルキル アミン塩およびアルキル4級アンモニウム塩等のカチオ ン性界面活性剤ならびにアミノ酸型およびベタイン型等 の両性界面活性剤が挙げられる。

【0189】これら界面活性剤の含有量は、特に限定されるものではないが、本発明の製剤100重量部に対し、通常0.05~20重量部の範囲が望ましい。また、これら界面活性剤は、単独で用いても2種以上を併用してもよい。

【 0 1 9 0 】また、本発明化合物を農薬として使用する場合には必要に応じて製剤時または散布時に他種の除草剤、各種殺虫剤、殺ダニ剤、殺線虫剤、殺菌剤、植物生長調節剤、共力剤、肥料、土壌改良剤などと混合施用しても良い。

【0191】特に他の農薬あるいは植物ホルモンと混合施用することにより、施用薬量の減少による低コスト化、混合薬剤の相乗作用による殺虫スペクトラムの拡大や、より高い有害生物防除効果が期待できる。この際、同時に複数の公知農薬との組み合わせも可能である。本発明化合物と混合使用する農薬の種類としては、例え

ば、ファーム・ケミカルズ・ハンドブック(Farm Chemicals Handbook)1999年版に記載されている化合物などがある。具体的にその一般名を例示すれば次の通りであるが、必ずしもこれらのみに限定されるものではない。

【0192】殺菌剤: アシベンゾラルーS-メチル (ac ibenzolar-S-methyl)、アシルアミノベンザミド(acyla minobenzamide)、アンバム(amobam)、アムプロピルホス (ampropyfos)、アニラジン (anilazine)、アザコナ ゾール (azaconazole)、アゾキシストロビン (azoxyst robin)、ベナラキシル (benalaxyl)、ベノダニル (be nodanil)、ベノミル (benomyl)、ベンチアゾール(ben thiazole)、ベンザマクリル (benzamacril)、ビナパク リル (binapacryl)、ビフェニル (biphenyl)、ビテル タノール (bitertanol)、ベトキサジン (bethoxazin e)、ボルドー液(bordeaux mixture)、ブラストサイ ジン-S (blasticidin-S)、ブロモコナゾール (bromoc onazole)、ブピリメート (bupirimate)、ブチオベー ト (buthiobate)、カルシウムポリスルフィド (calciu m polysulfide)、キャプタフォール (captafol)、キ ャプタン (captan)、カッパーオキシクロリド (copper oxychloride)、カルプロパミド (carpropamid)、カ ルベンダジン (carbendazim)、カルボキシン (carboxi n)、CGA-279202 (試験名)、キノメチオネート (c hinomethionat)、クロベンチアゾン (chlobenthiazon e)、クロルフェナゾール (chlorfenazol)、クロロネ ブ (chloroneb)、クロロタロニル (chlorothaloni 1)、クロゾリネート (chlozolinate)、クフラネブ (c ufraneb)、シモキサニル (cymoxanil)、シプロコナゾ ール (cyproconazol)、シプロジニル (cyprodinil)、 シプロフラム (cyprofuram)、ダゾメット(dazomet)、 デバカルブ (debacarb)、ジクロロフェン (dichloroph en)、ジクロブトラゾール (diclobutrazol)、ジクロ フラニド (diclhlofluanid)、ジクロメジン (diclomed ine)、ジクロラン (dicloran)、ジエトフェンカルブ (diethofencarb)、ジクロシメット (diclocymet)、 ジフェノコナゾール (difenoconazole)、ジフルメトリ ン (diflumetorim)、ジメチリモール (dimethirimo 1)、ジメトモルフ (dimethomorph)、ジニコナゾール (diniconazole)、ジニコナゾールーM (diniconazole-M)、ジノカップ (dinocap)、ジフェニルアミン (diph enylamine)、ジピリチオン (dipyrithione)、ジタリ ムホス (ditalimfos)、ジチアノン (dithianon)、ド デモルフ (dodemorph)、ドジン (dodine)、ドラゾク ソロン (drazoxolon) 、エデフェノホス (edifenpho s)、エポキシコナゾール (epoxiconazole)、エタコナ ゾール (etaconazole)、エチリモル (ethirimol)、エ トリジアノール (etridiazole)、ファモキサゾン (fam oxadone)、フェナリモル (fenarimol)、フェブコナゾ ール (febuconazole)、フェナミドン (fenamidone)、

フェンダゾスラム(fendazosulam)、フェンフラム (fenf uram)、フェンヘキサミド (fenhexamid)、フェンピク ロニル (fenpiclonil) 、フェンプロピジン (fenpropid in)、フェンプロピモルフ(fenpropimorph)、フェン チン(fentin)、フェルバン(ferbam)、フェリムゾン (ferimzone)、フルアジナム (fluazinam)、フルジオ キソニル (fludioxonil)、フルオロイミド (fluoroimi de)、フルキンコナゾール (fluquinconazole)、フル シラゾール (flusilazole)、フルスルファミド (flusu lfamide)、フルトラニル (flutolanil)、フルトリア フォール (flutriafol)、フォルペット (folpet)、フ ォセチルーアルミニウム (fosetyl-aluminium)、フベ リダゾール (fuberidazole)、フララキシル (furalaxy 1)、フラメトピル(furametpyr)、グアザチン (guazati ne)、ヘキサクロロベンゼン (hexachlorobenzene)、 ヘキサコナゾール (hexaconazole) 、ヒメキサゾール (hymexazol)、イマザリル (imazalil)、イミベンコ ナゾール (imibenconazole)、イミノクタジン (iminoc tadine)、イプコナゾール (ipconazole)、イプロベン ホス (iprobenfos)、イプロジオン (iprodione)、イ ソプロチオラン (isoprothiolane)、イプロバリカルブ (iprovalicarb)、カスガマイシン(kasugamycin)、 クレソキシムーメチル(kresoxim-methyl)、マンカッ パー (mancopper)、マンコセブ (mancozeb)、マンネ ブ (maneb) 、メパニピリム (mepanipyrim) 、メプロニ ル (mepronil) 、メタラキシル (metalaxyl) 、メトコ ナゾール (metconazole)、メタスルホカルブ(methasul focarb)、メチラム (metiram)、メトミノストロビン (metominostrobin)、ミクロブタニル (myclobutani 1)、MTF-753 (試験名)、ナバム (nabam)、ニッ ケルビス (ジメチルジチオカーバメート) (nickel bis (dimethyldithiocarbamate))、ニトロタールーイソプ ロピル (nitrothal-isopropyl)、ヌアリモル (nuarimo 1)、NNF-9425 (試験名)、オクチリノン (∞thili none)、オフレース(ofurace)、オキサジキシル(oxa dixyl)、オキシカルボキシン (oxycarboxin)、オキポ コナゾールフマール酸塩 (oxpoconazole fumarate)、 ペフラゾエート (pefurzoate)、ペンコナゾール (penc onazole)、ペンシクロン(pencycuron)、フタライド (phthalide)、ピペラリン (piperalin)、ポリオキシ ン(polyoxins)、炭酸水素カリウム(potassiumhydroge n carbonate)、プロベナゾール (probenazole) 、プロ クロラズ (prochloraz)、プロシミドン (procymidon e)、プロパモカルブ塩酸塩(propamocarbhydrochlorid e)、プロピコナゾール (propiconazole)、プロピネブ (propineb)、ピラゾホス (pyrazophos)、ピリフェノ ックス(pyrifenox)、ピリメタニル(pyrimethani 1)、ピロキュロン (pyroquilon)、キノメチオネート (quinomethionate)、キノキシフェン(quinoxyfen)、 キントゼン (quintozene) 、RH7281 (試験名) 、炭酸

水素ナトリウム(sodium hydrogen carbonate)、次亜塩 素酸ナトリウム(sodium hypochlorite)、硫黄 (sulfu r)、スピロキサミン (spiroxamine) 、テブコナゾール (tebuconazole)、テクナゼン (tecnazene)、テトラ コナゾール(tetraconazole)、チアベンダゾール(thi abendazole)、チアジアジン(thiadiazin/milneb)、チ フルザミド (thifluzamide)、チオファネートーメチル (thiophanate-methyl)、チラム(thiram)、トルクロ ホスーメチル(tolclofos-methyl)、トリルフラニド (tolylfluanid)、トリアジメホン (triadimefon)、 トリアジメノール (toriadimenol)、トリアゾキシド (triazoxide)、トリシクラゾール(tricyclazole)、 トリデモルフ (tridemorph)、トリフルミゾール (trif lumizole)、トリホリン(triforine)、トリチコナゾ ール(triticonazole)、バリダマイシン(validamyci n) 、ビンクロゾリン(vinclozolin)、硫酸亜鉛(zinc sulfate)、ジネブ (zineb) 、ジラム (ziram) 及びシイ タケ菌糸体抽出物など。

【0193】殺バクテリア剤:ストレプトマイシン (st reptomycin)、テクロフタラム(tecloftalam)、オキシ テトラサイクリン (oxyterracycline) 及びオキソリニ ックアシド (oxolinic acid) など。

【0194】殺線虫剤:アルドキシカルブ (aldoxycar b)、カズサホス (cadusafos)、フォスチアゼート (fo sthiazate)、フォスチエタン(fosthietan)、オキサ ミル (oxamyl) 及びフェナミホス (fenamiphos) など。 【0195】殺ダニ剤:アセキノシル (acequinocy 1)、アミトラズ (amitraz)、ビフェナゼート (bifena zate)、ブロモプロピレート (bromopropylate)、チノ メチオネート (chi nomethi onat) 、クロロベンジラート (chlorobezilate)、クロフェンテジン (clofentezin e)、サイヘキサチン (cyhexatine)、ジコフォール (d icofol)、ジエノクロール (dienochlor)、エトキサゾ ール (etoxazole)、フェナザキン (fenazaquin)、フ ェンブタチンオキシド(fenbutatin oxide)、フェンプ ロパトリン (fenpropathrin)、フェンプロキシメート (fenproximate)、ハルフェンプロックス (halfenpro x)、ヘキシチアゾックス(hexythiazox)、ミルベメク チン (milbemectin)、プロパルギット (propargit e)、ピリダベン(pyridaben)、ピリミジフェン(pyri midifen) 及びテブフェンピラド (tebufenpyrad) な

【0196】殺虫剤:アバメクチン(abamectin)、アセフェート(acephate)、アセタミピリド(acetamipir id)、アルディカルブ(aldicarb)、アレスリン(alle thrin)、アジンホスーメチル(azinphos-methyl)、ベンジオカルブ(bendiocarb)、ベンフラカルブ(benfur acarb)、ベンスルタップ(bensultap)、ビフェントリン(bifenthrin)、ブプロフェジン(buprofezin)、ブトカルボキシン(butocarboxim)、カルバリル(carbar

yl)、カルボフラン(carbofuran)、カルボスルファン (carbosul fan)、カルタップ (cartap)、クロルフェ ナピル (chlorfenapyr)、クロルピリホス (chlorpyrif os)、クロルフェンビンホス (chlorfenvinphos)、ク ロルフルアズロン (chlorfluazuron)、クロチアニジン (clothianidin)、クロマフェノジド (chromafenozid e)、クロピリホスーメチル (chlorpyrifos-methyl)、 シクロプロトリン (cycloprothrin)、シフルトリン (c yfluthrin)、ベーターシフルトリン (beta-cyfluthri n)、シペルメトリン (cypermethrin)、シロマジン (c yromazine)、シハロトリン (cyhalothrin)、ラムダー シハロトリン (lambda-cyhalothrin)、デルタメトリン (deltamethrin)、ジアフェンチウロン (diafenthiuro n)、ダイアジノン (diazinon)、ジアクロデン (diacl oden)、ジフルベンズロン (diflubenzuron)、ジメチ ルビンホス (dimethylvinphos) 、ジオフェノラン (dio fenolan)、ジスルフォトン (disulfoton)、ジメトエ ート (dimethoate)、エマメクチンベンゾエート (emam ectin-benzoate)、EPN、エスフェンバレレート (esfen valerate)、エチオフェンカルブ (ethiofencarb)、エ チプロール (ethiprole)、エトフェンプロックス (eto fenprox)、エトリムホス (etrimfos)、フェニトロチ オン(fenitrothion)、フェノブカルブ(fenobucar b)、フェノキシカーブ (fenoxycarb)、フェンプロパ トリン (fenpropathrin)、フェンバレレート (fenvale rate)、フィプロニル (fipronil)、フルアクリピリム (fluacrypyrim)、フルシトリネート (flucythrinat e)、フルフェノクスウロン(flufenoxuron)、フルフ ェンプロックス (flufenprox)、タウーフルバリネート (tau-fluvalinate)、ホノホス (fonophos)、フォル メタネート (formetanate)、フォルモチオン (formoth ion)、フラチオカルブ(furathiocarb)、ハロフェノ ジド (halofenozide)、ヘキサフルムロン (hexaflumur on)、ヒドラメチルノン(hydramethyl non)、イミダク ロプリド (imidacloprid)、イソフェンホス (isofenph os)、インドキサカルブ (indoxacarb)、イソプロカル ブ (isoprocarb)、イソキサチオン (isoxathion)、ル フェヌウロン (lufenuron)、マラチオン (malathio n)、メタルデヒド (metaldehyde)、メタミドホス (me thamidophos)、メチダチオン (methidathion)、メタ クリホス (methacrifos)、メタルカルブ (metalcar b)、メソミル (methomyl)、メソプレン (methopren e)、メトキシクロール(methoxychlor)、メトキシフ ェノジド (methoxyfenozide) 、モノクロトホス (monoc rotophos)、ムスカルーレ (muscalure)、ニジノテフ ラン (nidinotefuran)、ニテンピラム (nitenpyra m)、オメトエート(omethoate)、オキシデメトン-メ チル(oxydemeton-methyl)、オキサミル(oxamyl)、 パラチオン (parathion) 、パラチオン-メチル (parat hion-methyl)、ペルメトリン (permethrin)、フェン

トエート (phenthoate)、フォキシム (phoxim)、ホレ ート (phorate) 、ホサロン (phosalone) 、ホスメット (phosmet)、ホスファミドン (phosphamidon)、ピリ ミカルブ (pirimicarb) 、ピリミホスーメチル (pirimi phos-methyl)、プロフェノホス (profenofos)、プロ トリフェンブト (protrifenbute) 、ピメトロジン (pym etrozine)、ピラクロホス (pyraclofos)、ピリプロキ シフェン (pyriproxyfen)、ロテノン (rotenone)、ス ルプロホス (sulprofos)、シラフルオフェン (silaflu ofen)、スピノサド (spinosad)、スルホテップ (sulf otep)、テブフェノジド (tebfenozide)、テフルベン ズロン (teflubenzuron)、テフルトリン (tefluthori n)、テルブホス(terbufos)、テトラクロロビンホス (tetrachlorvinphos)、チアクロプリド (thiaclopri d)、チオシクラム(thiocyclam)、チオジカルブ(thi odicarb)、チアメトキサム (thiamethoxam)、チオフ ァノックス (thiofanox)、チオメトン (thiometon)、 トルフェンピラド (tolfenpyrad)、トラロメスリン (t ralomethrin)、トリクロルホン (trichlorfon)、トリ アズロン (triazuron)、トリフルムロン (triflumuro n) 及びバミドチオン (vamidothion) など。

【0197】本発明化合物の施用薬量は適用場面、施用時期、施用方法、栽培作物等により差異はあるが一般には有効成分量としてヘクタール(ha)当たり0.005~50kg程度が適当である。

【0198】本発明化合物を用いる場合の製剤の配合例を以下に示す。但し、本発明の配合例は、これらのみに限定されるものではない。なお、以下の配合例において「部」は重量部を意味する。

【0199】[水和剤]

本発明化合物	0.1~80部
固体担体	5~98.9部
界面活性剤	1~10部
その他	0~ 5部
その他として、例えば固結防止剤、	分解防止剤等があけ
れらる。	

【0200】〔乳 剤〕

本発明化合物		0.1~30部
液体担体		45~95部
界面活性剤		4.9~15部
その他	•	0~10部
その他として、	例えば展着剤、	分解防止剤等が挙げられ

その他として、例えば展着剤、分解防止剤等が挙げられる。

【0201】 (懸濁剤)

本発明化合物	0.1~70部
液体担体	15~98.89部
界面活性剤	1~12部
その他	0.01~30部
その他として、	例えば凍結防止剤、増粘剤等が挙げられ
3	

【0202】〔顆粒水		(非イオン性界面活性剤: 花王	(株)商品を)
本発明化合物	0.1~90部		0.5部
固体担体	0~98.9部	(アニオン性界面活性剤:東邦イ	
界面活性剤	1~20部	キサンタンガム	
その他	0~ 10部		0.2部
その他として、例えば	語合剤、分解防止剤等が挙げられ	•	64. 3部
る。			が砕して懸濁剤とする。
【0203】(液 剤))	【0211】〔配合例4〕顆粒パ ル剤)	K和剤(ドライフロアブ
本発明化合物	0.01~70部	本発明化合物No. 1	
液体担体	20~99.99部	ハイテノールNE-15	75部
その他	0~ 10部		5部
その他として、例えばほ	東結防止剤、展着剤等が挙げられ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(アニオン性界面活性剤:第一I バニレックスN	
る。	一一一一		10部
【0204】〔粒 剤〕		(アニオン性界面活性剤:日本製	
	0.01~80部	カープレックス#80D	
固体担体	10~99.99部	(合成含水珪酸:塩野義製薬(株) 商品名)
その他	0~10部	以上を均一に混合粉砕した後、少	量の水を加えて攪拌混
	合剤、分解防止剤等が挙げられ	合捏和し、押出式造粒機で造粒し	、乾燥して顆粒水和剤
ة	日和、万併例正則寺が李打られ	とする。	
【0205】〔粉 剤〕		【0212】[配合例5]粒 剤	
本発明化合物	0 01-20#	本発明化合物No. 1	5部
固体担体	0.01~30部 65~99.99部	ベントナイト	50部
その他	05~99.998		45部
	0〜5部 リフト防止剤、分解防止剤等が		量の水を加えて攪拌混
挙げられる。	ソノトの圧削、分解防止剤等が		乾燥して粒剤とす
	初ル 今間ナナカウン トゥルー	る。 -	
防除剤の配合例をより目	明化合物を有効成分とする害虫	【0213】〔配合例6〕粉 剤	
に限定されるものではない	本的に示すが、本発明はこれら、	本発明化合物No.1	3部
		カープレックス#80D	0.5部
部を意味する。	に合例において、「部」は重量	(合成含水珪酸:塩野義製薬(株)	商品名)
	_l. Testri	カオリナイト	95部
【0208】〔配合例1〕 本発明化合物No.1		リン酸ジイソプロピル	1.5部
パイロフィライト	25部	以上を均一に混合粉砕して粉剤とす	る。
	71部	【0214】使用に際しては上記水	:和剤、乳剤、フロア
ソルポール5039		ブル剤、粒状水和剤は水で50~2	0000倍に希釈し
(非イオン性界面活性剤と	アニオン性界面活性剤との混	て有効成分が1ヘクタール(ha)	当たり0.005~
合物:東邦化学工業(株)	商品名)	50kgになるように散布する。	
カープレックス#80D	2部	[0215]	•
(合成含水珪酸:塩野義製	薬(株)商品名)	【実施例】以下に本発明化合物の合	成例、試験例を実施
以上を均一に混合粉砕して	水和剤とする。	例として具体的に述べるが、本発明	はこれらによって限
【0209】〔配合例2〕	乳剤	定されるものではない。	vert year year
本発明化合物No. 1	5部	〔合成例1〕2-(1-(5-(1,	3 4-KUX4
キシレン	75部	ルピラゾールー5ーイル) イソキサン	ブールー イーメルハ
N-メチルピロリドン	15部	ピラゾールー3ーイル) -1, 3-5	チアゾールの今世
ソルポール2680	5部	(化合物No. 1)	7 / 一ルの音成
(非イオン性界面活性剤と	アニオン性界面活性剤との混	[0216]	
合物:東邦化学工業(株)	商品名)	【化15】	
以上を均一に混合して乳剤と		- -	
【0210】〔配合例3〕,	悉濁剤(フロアブル剤)		
本発明化合物No.1	2 5 ±7		

本発明化合物No.1 25部

10部

アグリゾールS-710

【0217】2-ピラゾールー3ーイルー1,3ーチアゾール3.0gをアセトニトリル30mlに溶解した中に、炭酸カリウム8.2gを加えた。ブロム酢酸メチル6.1gを加えた後温度を上げ、加熱還流下2時間撹拌した。溶媒を減圧留去した後、残渣を酢酸エチルに溶解し、水洗、飽和食塩水で洗浄後、有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、減圧下で溶媒を留去して粗生成物を得た。これをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=1:2)で精製し、化合物(a)を3.7g得た。

【0218】化合物(a)3.6gと1,3,4ートリメチルピラゾールー5ーカルボニルクロリド2.8gをテトラヒドロフラン40mlに溶解した中に氷冷下、カリウム セーブトキシド4.5gを加えた。室温で一晩撹拌した後、反応液を希塩酸水溶液中に注ぎ、酢酸エルで抽出した。有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、減圧下で溶媒を留去して化合物(b)を5.2gを加え、加熱還流下で溶媒を留去して化合物(b)5.2gを加え、加熱還流下で時間撹拌した。1,4ージオキサンを減圧留去後、炭酸水素ナトリウム水溶液で中和し、酢酸エチルで放出と、減圧下で溶媒を留去して粗生成物をた。水洗、飽和食塩水で洗浄後、有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、減圧下で溶媒を留去して粗生成物を得た。これをイソプロピルエーテルで洗浄して化合物(c)を1.75g得た。

【0220】化合物 (c) 1. 0gをアセトニトリル1 5m1 に溶解した中に、N, N - ジメチルホルムアミド ジメチルアセタール0. 47gを加え、80 $^{\circ}$ でで3時間 撹拌した。滅圧下で溶媒を留去して粗生成物を得た。これをイソプロピルエーテルで洗浄して化合物 (d) を 1.13g得た。

【0221】化合物(d)0.45gをエタノール15m1に溶解した中にヒドロキシルアミン塩酸塩0.11gとpートルエンスルホン酸を触媒量加え、加熱還流下、一晩攪拌した。溶媒を滅圧留去した後、残渣を酢酸エチルに溶解し、水洗、飽和食塩水で洗浄後、有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、滅圧下で溶媒を留去して粗生成物を得た。これを分取TLC(ヘキサン:酢酸エ

チル=1:2)で精製し、化合物No.1を0.14g 得た。

[O 2 2 2] 1 H-NMR(CDCl₃, δ ppm):1.81(3H,s),2.24(3 H,s),3.73(3H,s),6.98(1H,d),7.38(1H,d),7.42(1H,d),7.89(1H,d),8.91(1H,s)

〔合成例2〕1-アザ-2-(2-(5-(3,5-ジクロロー1-メチルピラゾールー4-4ル)イソキサゾールー4-4ル)(1, 3-4アゾールー4-4ル)) -1-Xトキシプロプー1-Xンの合成(化合物10.2)

[0223]

【0224】-5℃に冷却したテトラヒドロフラン100ml中にn-ブチルリチウム19mlを加えた。その溶液中にN-(トリメチルシリル)アセタミド1.8gを加え0.5時間撹拌した。メチル-3,5-ジクロロー1-メチルピラゾール-4-カルボキシレート1.5gをテトラヒドロフラン10mlに溶解した液を、上記反応液中に0℃以下の温度を保ちながら滴下した。0℃で2時間撹拌した後、酢酸を加えてpH4に調製し、水で希釈した後、溶媒を減圧留去した。残渣を酢酸エチルに溶解し、水洗、飽和食塩水で洗浄後、有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、減圧下で溶媒を留去して粗生成物を得た。これをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル)で精製し、化合物(e)を0.91g得た。

【0225】化合物(e)0.8gを1,4-ジオキサン10mlに溶解した中にローソン試薬1.37gを加え室温で一晩撹拌した。沪過して固体を除いた後、溶媒を減圧留去し、残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=1:1)で精製し、化合物(f)を0.8g得た。

【0226】化合物(f)0.8gをメタノール15m 1に溶解した中に、4ーアザー1ーブロモー4ーメトキ :4

シー3ーメチルブトー3ーエンー2ーオン0.62gを加え、1時間加熱還流した。溶媒を減圧留去し、炭酸カリウム0.5gを水20mlに溶解した液で中和し、酢酸エチルで抽出した。水洗、飽和食塩水で洗浄後、有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、減圧下で溶媒を留去して粗生成物を得た。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=2:1)で精製し、化合物(g)を0.84g得た。

【0227】化合物(g) 0.45gをアセトニトリル10mlに溶解した中に、N, N-ジメチルホルムアミドジメチルアセタール0.59gを加え、80℃で6時間撹拌した。減圧下で溶媒を留去した後、残渣を酢酸エチルに溶解し、水洗、飽和食塩水で洗浄後、有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、減圧下で溶媒を留去して粗生成物を得た。これをイソプロピルエーテルで洗浄して化合物(h)を0.42g得た。

【0228】化合物(h) 0.42gをエタノール10 m I に溶解した中にヒドロキシルアミン塩酸塩72.6 m gを加え、加熱還流下、3時間攪拌した。溶媒を減圧留去した後、残渣を酢酸エチルに溶解し、水洗、飽和食塩水で洗浄後、有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、減圧下で溶媒を留去して粗生成物を得た。これを分取TLC(ヘキサン:酢酸エチル=2:1)で精製し、化合物No.2を80mg得た。オキシム部分の立体は、2体またはE体の単一化合物であった。

[O 2 2 9] 1 H-NMR (CDCl $_3$, δ ppm):2.30(3H,s),3.93(3H,s),4.01(3H,s),7.57(1H,s),8.87(1H,s)

同様にして化合物No. 3を合成した。オキシム部分の立体は、Z体またはE体の単一化合物であった。

[0230]

【化17】

【0231】次に、本発明化合物の害虫防除剤としての有用性について、以下の試験例において具体的に説明する。

【0232】〔試験例1〕 トビイロウンカに対する殺虫試験

明細書に記載された本発明化合物の5%乳剤(化合物によって25%水和剤を供試)を展着剤の入った水で希釈して、500ppm濃度の薬液に調製した。

【0233】この薬液を1/20,000アールのボットに植えたイネの茎葉に十分量散布した。風乾後、円筒をたて、トビイロウンカの2令幼虫をボット当たり、10頭放虫し、蓋をし、恒温室に保管した。調査は6日経過後に行い死虫率を下記の計算式から求めた。尚、試験は2区制で行なった。

[0234]

【数1】死虫率(%) = [死虫数/(死虫数+生存虫数)]×100

その結果、以下の化合物が80%以上の死虫率を示した。

【0235】本発明化合物No.:1。

【0236】〔試験例2〕 ツマグロヨコバイに対する 殺虫試験

本発明化合物の500ppm濃度の乳化液中に稲の茎葉を約10秒間浸漬し、この茎葉をガラス円筒に入れ、有機リン系殺虫剤に抵抗性を示すツマグロヨコバイ成虫を放ち、孔のあいた蓋をして25℃の恒温室に収容し、6日後の死虫数を調査し、試験例1と同様の計算式から死虫率を求めた。尚、試験は2区制でおこなった。その結果、以下の化合物が80%以上の死虫率を示した。

【0237】本発明化合物No.:1、2、3。

【0238】〔試験例3〕 モモアカアブラムシに対する殺虫試験

内径3cmのガラスシャーレに湿った沪紙を敷き、その上に同径のキャベツの葉を置いた。モモアカアブラムシ無翅雌成虫を4頭放ち、1日後に回転式散布塔にて薬液を散布(2.5mg/cm²)した。薬液は、明細書に記載された本発明化合物の5%乳剤(化合物によっては25%水和剤を供試)を展着剤の入った水で希釈して500ppm濃度に調整したものを用いた。処理6日後に成虫および幼虫の死虫率を下記の計算式から求めた。なお試験は2区制で行なった。

【0239】死虫率(%)=[死虫数/(死虫数+生存虫数)]×100

その結果、以下の化合物が80%以上の死虫率を示した。

【0240】本発明化合物No.:1、3。

【0241】[試験例4] コナガに対する接触性殺虫 試験

本発明化合物の500ppm濃度の水乳化液中にカンランの葉を約10秒間浸漬し、風乾後シャーレに入れ、この中にコナガ2令幼虫をシャーレ当たり10頭ずつ放ち、孔のあいた蓋をして25℃の恒温室に収容し、6日後の死虫数を調査し、試験例1と同様の計算式から死虫率を求めた。尚、試験は2区制でおこなった。その結果、以下の化合物が80%以上の死虫率を示した。

【0242】本発明化合物No.:1。

【0243】〔試験例5〕 ウリハムシに対する殺虫試 験

明細書に記載された本発明化合物の5%乳剤(化合物によっては25%水和剤を供試)を展着剤の入った水で希釈して、500ppm濃度の薬液に調整し、この薬液中にキュウリの葉を約10秒間浸漬し、風乾後シャーレに入れ、この中にウリハムシ2令幼虫をシャーレ当たり10頭を放虫し、蓋をして25℃恒温室に収容し、6日間経過後の死虫率を試験例1と同様の計算式から求めた。

尚、試験は2区制で行った。

【0244】その結果、以下の化合物が80%以上の死 虫率を示した。

【0245】本発明化合物No.:1。

【0246】〔試験例6〕 ナミハダニに対する殺ダニ 効力試験

インゲンの葉をリーフパンチを用いて径3.0cmの円 形に切り取り、径7cmのスチロールカップ上の湿った 沪紙上に置いた。これにナミハダニ幼虫を1葉当たり1 0頭接種した。明細書に記載された本発明化合物の5% 乳剤(化合物によっては25%水和剤を供試)を展着剤 の入った水で希釈して、500ppm濃度の薬液に調整 しこの薬液をスチロールカップ当たり2mlずつ回転式 散布塔を用いて散布し、25℃の恒温室に収容し、96

時間経過後の死虫率を試験例1と同様の計算式から求め た。尚、試験は2区制で行なった。その結果、以下の化 合物が80%以上の死虫率を示した。

【0247】本発明化合物No.:1、3。 [0248]

【発明の効果】殺虫剤や殺菌剤の長年にわたる使用によ り、近年、病害虫が抵抗性を獲得し、従来の殺虫剤や殺 菌剤による防除が困難になっている。また殺虫剤の一部 は毒性が高く、あるものは残留性により生態系を乱しつ つある。よって本発明は、低毒性かつ低残留性の新規な 殺虫剤または殺菌剤を提供し、また、生態系への影響や 二次汚染の少ない水中生物付着防止剤を提供するもので ある。

フロントページの続き

(72)発明者 三宅 敏郎

埼玉県南埼玉郡白岡町大字白岡1470 日産

化学工業株式会社生物科学研究所内

(72)発明者 瀧井 新自

埼玉県南埼玉郡白岡町大字白岡1470 日産

化学工業株式会社生物科学研究所内

(72)発明者 伊藤 俊紀

埼玉県南埼玉郡白岡町大字白岡1470 日産

化学工業株式会社生物科学研究所内

Fターム(参考) 4CO63 AAO3 BB01 BB02 CC51 CC61

CC62 CC92 DD22 DD51 DD52

DD61 DD62 EE03

4H011 AC01 AC04 BA01 BB10 BC01

BC07 BC09 BC17 BC18 BC19

BC20 DA02 DA13 DA15 DC04

DC05 DC06 DC08 DH02 DH03

DH10 DH14

THIS PAGE BLANK (USPTO)